現 場 説 明 書

1. 工事番号　　8-市災害-01
   工事名　　塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

2. 工事場所　　塩竈市字伊保石5番地25

3. 現場説明事項

(1)　工事期間　　契約日の翌日　～　令和8年12月10日

(2)　支払い条件

①前払金　　公共工事の前払金保証事業に関する法律第2条第4項に規定する会社の保証により40％以内

②完成払い

※　前払金・完成払いの振込手数料は公社負担。

(3)　質疑・回答

①質疑　　令和8年8月27日(木)11時までに書面にて提出のこと。

②回答　　令和8年8月28日(金)11時までにホームページ内で回答する。

問合せ　：　総務課　経営戦略班　　FAX　：　022-261-0831

Mail　：　keiei@miyagi-jk.or.jp

4. その他　　詳細は別紙設計図書による

工事の概要

1．工事概要

工事名称　8-市災害-01
塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

工事場所　塩竈市字伊保石5番地25

工事期間　契約日の翌日 ～ 令和8年12月10日

工事概要　火災により焼失(損傷)した内装・設備の復旧工事を行う。
- 壁、天井貼替(内装仕上げ共)
- ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ床貼替(一部床下地取替)
- ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ取替
- 電気設備(ｺﾝｾﾝﾄ・ｽｲｯﾁ・照明等)取替
- 特殊清掃により、煤汚れ除去

2．工事仕様

本工事は、設計図書によるほか、
- 公共住宅建設工事共通仕様書（令和5年版）　（公共住宅事業者等連絡協議会）
- 公共建築工事標準仕様書（令和7年版）　（国土交通省大臣官房営繕部監修）
- 公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）　（国土交通省大臣官房営繕部監修）
- 建築工事監理指針（令和7年度版）　（国土交通省大臣官房営繕部監修）
- 建築改修工事監理指針（令和7年度版）　（国土交通省大臣官房営繕部監修）

による。

3．厳守事項

本工事に起因する廃棄物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（昭和45年法律137号、改正平成12年6月2日）、並びに関係法令等に基づき場外搬出のうえ適切に処分しマニフェストを提出すること。

本工事施工の際に発生した廃棄物（コンクリート及びアスファルト等）は、「建設工事に係る資材の再資源化に関する法律」（平成12年法律第104号、平成14年5月30日施行）、並びに関係法令等に基づき、分別解体及び建築資材廃棄物の再資源化等の促進に努めること。

また施工の際は、事前に計画書を作成し監督員に提出すること。

本工事で発生する建設廃棄物のうち、宮城県内の最終処分場（中間処理施設を含む）に搬入される産業廃棄物については、宮城県の産業廃棄物税が課税されるので適正に取り扱うこと。

本工事では、宮城県の産業廃棄物税相当額を計上していないが、必要となった場合は変更設計により計上することとする。

4．記録．報告等

工事記録等は、次の事項について作成し、監督員に提出すること。

①	契約書（写）	1部
②	監督員決定通知書	1部
③	現場代理人・主任技術者届	1部
④	実施工程表	1部
⑤	施工計画書	1部
⑥	工事カルテ受領書の写し	1部
⑦	質疑応答書	1部
⑧	下請負人及び材料業者一覧表	1部
⑨	使用材料報告書	2部
⑩	各種試験成績書	2部
⑪	工事日報	1部
⑫	工事写真（材料・工具類・各工程・完成）	1部
⑬	完成図面	1部
⑭	発生材処理報告書（産業廃棄物等関係書類）	1部

⑦ については、着手届等と共に速やかに提出のこと。
①～⑭ については原則としてＡ４版ファイルにまとめること。

5．支払い方法

・前払い金　公共工事の前払金保証事業に関する法律第2条第4項に規定する会社の保証により40％以内

・完成払い　※上記支払いの際に発生する銀行振り込み手数料は、発注者負担とする。

6．その他

本工事は、宮城県住宅供給公社建設工事執行要綱により契約・施工し、疑義が生じた場合は監督員と協議の上実施するものとする。

8-市災害-０１
塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面リスト

図面番号	図　面　名　称	縮　尺	図面番号	図　面　名　称	縮　尺
A-01/26	特記仕様書１	－	A-14/26	展開図２	1/50
A-02/26	特記仕様書２	－	A-15/26	展開図３	1/50
A-03/26	特記仕様書３	－	A-16/26	展開図４	1/50
A-04/26	配置図	－	A-17/26	展開図５	1/50
A-05/26	建物概要、外部仕上表	－	A-18/26	展開図６	1/50
A-06/26	１階内部仕上表	－	A-19/26	展開図７	1/50
A-07/26	２階内部仕上表	－	A-20/26	展開図８	1/50
A-08/26	１階平面図、リビング床伏図	1/50	A-21/26	建具表１	1/100
A-09/26	２階平面図	1/50	A-22/26	建具表２	1/100
A-10/26	立面図	1/100	A-23/26	建具表３	1/100
A-11/26	１階天井伏図	1/50	A-24/26	１階電気設備図	1/50
A-12/26	２階天井伏図	1/50	A-25/26	２階電気設備図	1/50
A-13/26	展開図１	1/50	A-26/26	照明器具・ｲﾝﾀｰﾎﾝ参考姿図	－

宮城県住宅供給公社

設　計　審　査
（図面総枚数：２７枚）

保全課長	副参事兼 課長補佐	課長補佐	担　当
齋藤	三浦	千葉	早坂

建　築　改　修　工　事　特　記　仕　様　書　【令和８年４月版】

Ⅰ　工　事　概　要

1　工事番号・名称　　8-市災害-01　塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事
2　工　事　場　所　　塩竈市字伊保石5番地25(塩竈市営伊保石住宅25号棟)
3　用途地域等
　都市計画区域（◎ 内 ・ 外）用途地域（ 第一種低層住居専用地域 ）
　防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ・ 指定なし ⊙ ２２条 ）
　その他の地域・地区（ ）
4　主　要　用　途　　公営住宅(木造2階　一戸建て)
5　敷　地　面　積　　－　　㎡
6　工　事　の　概　要　　火災により焼失（損傷）した内装・設備の復旧工事を行う
・壁、天井貼替（内装仕上げ共）
・ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ床張替（一部床下地取替）
・ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ取替
・電気設備（ｺﾝｾﾝﾄ・ｽｲｯﾁ・照明等）取替
・特殊清掃により、煤汚れ除去

7　別　途　工　事

8　そ　の　他

9　特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
・ 構造特記仕様書　・ 外構工事特記仕様書　・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書　・ 電気設備工事特記仕様書　・ 機械設備工事特記仕様書
・　・

建　築　工　事　仕　様

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和7年版）」（以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

2．特記仕様
1）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
2）特記事項は、⊙印のついたものを適用する。⊙印のつかない場合は※印のついたものを適用する。⊙印と※印のついた場合は、共に適用する。
3）特記事項に記載の＜　＞、（　）及び［　］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」、「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

章	項　目	特　記　事　項
1 一般共通事項	①．一般事項	⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。 ⊙ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。 ⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。 ・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。 ※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による ※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること 調査範囲　※　図示
	②．適用基準等	⊙ 宮城県住宅供給公社建設工事執行要綱 ⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱 ⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和4年版） ⊙ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部　令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和5年版）
	3．概成工期	工事工期より　　日前　〈1.2.1〉
	④．工事実績情報ｼｽﾃﾑ（ｺﾘﾝｽﾞ）の登録	※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　〈1.1.4〉 受注時、登録内容の変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後、配置技術者の変更後、変更契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。 ・ 適用しない
	⑤．発生材の処理等	発生材の処理　〈1.3.12〉 ・ 引渡しを要するもの（　） ・ 特別管理産業廃棄物（　） 受入れ施設名・所在地（km） ・ 現場において再利用を図るもの（　） ⊙ 再生資源化を図るもの

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考
⊙ 木くず、ｶﾞﾗｽ	宮本産業㈱	塩竈市港町2-14-21	4.3Km
⊙ 廃蛍光管	梶原電気㈱ 破砕施設	仙台市若林区六丁目字南39-4-2	17.0Km
⊙ 廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	㈱豊島	塩竈市杉の入3-25-2	3.4Km
・ コンクリートから成る建設資材			
・			

⊙その他の廃棄物（安定型）

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考
⊙ 建設混合廃棄物	矢本ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ㈱	東松島市大塩字	23.0km
	大塩最終処分場	天神堂1-1, 1-2, 3, 6-2	

・その他の廃棄物（管理型）

種　類	受入施設名	所在地（Km）	備　考

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器　・ 有（数量は図示）　[5.4.1]
⊙ 無
PCB含有シーリング材　・ 有（施工範囲は図示）　[5.4.1]
⊙ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事　・有（図示　）⊙無
受け入れ施設名・所在地（km）
アスベスト含有保温材除去工事　・有（図示　）⊙無
受け入れ施設名・所在地（km）
アスベスト成形板除去工事　・有（図示　）⊙無
受け入れ施設名・所在地（km）

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード　・有（図示　）⊙無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
＜対象となる石膏ボード＞
小名浜吉野石膏（株）　いわき工場　昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株）　八戸工場　平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称：　　所在地（km）　】

⑥．電気保安技術者　・ 適用する　※ 適用しない　〈1.3.3〉

⑦．事故報告　〈1.3.10〉
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。（宮城県HP「事故発生報告」参照）

⑧．建築材料等
材料の品質等　〈1.4.2〉
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮　〈1.4.1〉
※ 使用する材料は、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮し、かつ石綿を含有しないものとする。

※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量　規制対象外　の場合の建築材料
1）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
2）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
3）次の表示のあるＪＡＳ適合品
a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b．接着剤等不使用
c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

9．室内の空気中の化学物質濃度の測定　※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定　(1.5.10)〈1.7.10〉
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の測定マニュアル（統合版）」の最大濃度推定法による。

測定対象物質
※ ﾎﾙﾑｱﾙﾃﾞﾋﾄﾞ（濃度指針値　100μg/m3 ・ 0.08ppm）
※ ｽﾁﾚﾝ（濃度指針値　220μg/m3 ・ 0.05ppm）
※ ﾄﾙｴﾝ（濃度指針値　260μg/m3 ・ 0.07ppm）
※ ｴﾁﾙﾍﾞﾝｾﾞﾝ（濃度指針値　370μg/m3 ・ 0.085ppm）
※ ｷｼﾚﾝ（濃度指針値　200μg/m3 ・ 0.05ppm）
測定する室等：（　）

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を１部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

総揮発性有機化合物の測定は「11章 総揮発性有機化合物（TVOC）測定」参照

⑩．特別な材料の工法　「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

11．建築基準法による風圧力等の指定　〈3.5.4〉〈3.9.3〉〈5.11～13.2〉〈5.14.5〉(13.2.3) (13.3.3)

適　用　工　事	建　築　基　準　法　の　指　定
・ 合成高分子系ルーフィングシート	風速（V0）　※３０　・
・ アルミニウム笠木　・ 金属板屋根葺	地表面粗度区分　・Ⅱ　・Ⅲ
・ 折板屋根葺　・ ガラスブロック	多雪地域の指定　・有　・無
・ 重量シャッター　・ 軽量シャッター	
・ オーバーヘッドドア　・ 屋上緑化	

12．設計ＧＬ　※ 図示　・ 現状平均地盤高

13．施工調査　施工数量調査　〈1.6.2〉

調査項目	調査範囲	調査方法	成果品

・ 既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。　〈1.6.3〉

14．技能士
・ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は単一級技能士を配置する。　〈1.7.2〉
※ 下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
※ 下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること。

工　事　種　目	技能検定職種（技能検定作業）
以下の該当工事	・該当する作業がある以下の職種（作業）の全て
仮設工事	・とび（とび作業）
防水改修工事	・防水施工：・アスファルト防水工事作業／・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業／・アクリルゴム系塗膜防水工事作業／・合成ゴム系シート防水工事作業／・塩化ビニル系シート防水工事作業／・シーリング防水工事作業／・改質ｱｽﾌｧﾙﾄｼｰﾄﾄｰﾁ防水工事作業／・ＦＲＰ防水工事作業
外壁改修工事	・左官（左官作業）　・タイル張り（タイル張り作業） ・樹脂接着剤注入施工（樹脂接着剤注入工事作業） ・塗装（建築塗装作業）
建具改修工事	・サッシ施工（ビル用サッシ施工作業） ・ガラス施工（ガラス工事作業） ・自動ドア施工（自動ドア施工作業）
内装改修工事	・内装仕上施工：・プラスチック系床仕上工事作業／・木質系床仕上工事作業／・ボード仕上工事作業／・鋼製下地工事作業 ・表装（壁装作業）　・建築大工（大工工事作業）
塗装改修工事	・塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	・鉄筋施工（鉄筋組立作業） ・型枠施工（型枠工事作業）　・とび（とび作業） ・コンクリート圧送施工（コンクリート圧送工事作業）
ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事	・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業）
石工事	・石材施工（石張り作業）
排水工事	・配管（建築配管作業）
舗装工事	・路面標示施工：・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄﾞﾏｰｶｰ工事作業／・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業
植栽工事	・造園（造園工事作業）
屋根及びとい工事	・建築板金（内外装板金作業）

15．完成図等　営繕工事完成引渡要領（令和7年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。
※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本　１部
※ 完成図面　JWW形式又はDXF形式のCADデータ及びPDFデータ　DVD-R等１部

16．完成写真　※ 作成する　・ 作成しない
営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本（電子媒体）とともに監督職員に提出する。
なお、原本は、DVD-R等で提出すること。

分　類	サイズ	撮影箇所数	部　数	提出様式
※カラー・白黒	※Ｌ・２Ｌ・六切り	※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度・　箇所　枚	※１部・　部	※工事用アルバムA4版 ポケット式程度・フリーアルバム（台紙寸法323×270程度）・

アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。

17．設備工事との取合い　施工範囲　各工事の区分表による。
施工図　設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

18．火災保険等　工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類　※ 火災保険　※ 建設工事保険　・
保険期間　※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで　・

2　仮設工事

1．仮囲い　※ 設ける　・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
・キャスターゲート（H=　、W=　）×　箇所
・シートゲート（H=　、W=　）×　箇所

2．交通誘導員　・ 配置する（　日 × 　人 ＝　人日）　※ 配置しない

3．揚重機械器具　・ トラッククレーン（　t吊り）×　日
・　（　t吊り）×　日

3　内装改修工事

①．改修範囲　〈6.1.3〉
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示により、既存仕上げに準じた仕上げを行う
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
※壁面より両側 600㎜ 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
⊙図示により、既存仕上げに準じた仕上げを行う
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま
⊙図示により、既存仕上げに準じた仕上げを行う

②．既存床の撤去及び下地補修　ビニル床シート等の除去　〈6.2.2〉
※仕上材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
・機械的除去工法
・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、改修標準仕様書4章外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲
※図示による　・

3．既存壁の撤去及び下地補修　間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修　〈6.3.2〉
※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り（全塗厚が25㎜を超える場合の処置　※図示による）
・

4．木下地等の表面仕上げ　見え掛り面の表面仕上げの程度　〈6.5.1〉
※プレーナー加工仕上げ
適用部材（部位）（　）
・超自動機械かんな掛け仕上げ
適用部材（部位）（　）
・サンダー掛け仕上げ
適用部材（部位）（　）

5．木材の施工一般　材料のホルムアルデヒド放散量　〈6.5.2〉
※改修標準仕様書6.5.2(1)(ｲ)による

6．製材　⊙JAS 1083-5に基づく下地用製材　〈6.5.1〉〈6.5.6～9〉

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法（㎜）	含水率	保存処理
ﾘﾋﾞﾝｸﾞ床下地		※2級・	⊙図示	※A種　・B種	・
		※2級・		※A種　・B種	・

・JAS 1083-2に基づく造作用製材

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法（㎜）	含水率	保存処理
見え掛り面		※上小節・		※A種　・B種	・
見え掛り面以外		※小節以上・		※A種　・B種	・

④ 工事表示板　※ 設置する　・設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定）による。

⑤．足場等
外部足場　・設置する（設置範囲　・工事に必要な範囲　・　）〈2.2.1〉〈表2.2.1〉
・設置しない
防護シート　・設置する（設置範囲　・工事に必要な範囲　・　）
・設置しない
内部足場　⊙設置する（※脚立、足場板等（階段・吹抜部足場共））
・設置しない
・材料、搬去材等の運搬方法
種別（・Ａ種　・Ｂ種　・Ｃ種　⊙Ｄ種　・Ｅ種）
Ｃ種：利用可能なエレベーター（　）
Ｄ種：利用可能な階段（　住戸内階段　）
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省令和5年12月改定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。

6．養生　家具及び設備の移動　・ 行う（図示）　・ 行わない　〈2.3.1〉
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管　・ 行う　・ 行わない
養生の方法
保管場所

7．仮設間仕切り　・ 設ける（図示）　〈2.3.2〉〈表2.3.1〉
・ Ａ種　・ Ｂ種　※ Ｃ種

8．監督職員事務所　※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する）　〈2.4.1〉
・ 設ける（規模　㎡程度　請負者事務所と同棟　・可　・否）
備品（

⑨ 工事用水　構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない

⑩ 工事用電力　構内既存の施設　・ 利用できる（※有償　・無償）　※ 利用できない
※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く

⑪ 工事用通路　※ 指定しない　・ 指定する（図示）

宮城県住宅供給公社	設計年月日 R08.07		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者

工事名称　塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事
図面名称　特記仕様書１　Scale －
全葉　27
図面 No　A－01/26

3 内装改修工事

・JAS 1083-6に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種名	等級（材面の品質）	寸法（mm）	含水率	保存処理
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・
		※1等 ・		※10%以下 ・A種 ・B種	・

・JAS 1083（製材）以外の製材

施工箇所	寸法（mm）	材面の品質	防虫処理の適用	含水率
		（ ） 造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種
		（ ） 造作材の場合（※A種 ・B種）	・適用する ・適用しない	※A種 ・B種

7．造作用集成材

・JAS 1152に基づく造作用集成材 〈6.5.2〉

施工箇所	品名	樹種名	見付け材面	寸法（mm）	見付け材面の品質
					※1等 ・2等
					※1等 ・2等

・JAS 1152に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	材種名	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面	寸法（mm）	見付け材面の品質
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等
		化粧薄板： 芯材：				※1等 ・2等

・JAS 1152以外の造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法（mm）	見付け材面の品質	含水率
				※15%以下 ・
				※15%以下 ・

・JAS 1152以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	材種名	寸法（mm）	化粧薄板の厚さ（mm）	見付け材面の品質	含水率
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・
	化粧薄板： 芯材：				※15%以下 ・

8．造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材 〈6.5.2〉

施工箇所	品名	寸法（mm）	表面の品質	防虫処理
			・無（・1等 ・2等 ・3等） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ）	・適用する ・適用しない
			・無（・1等 ・2等 ・3等） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ）	・適用する ・適用しない

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法（mm）	表面の品質	含水率	防虫処理
		・無（ ） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない
		・無（ ） ・有（・天然木化粧加工 ・塗装加工 ）	※14%以下 ・	・適用する ・適用しない

・JAS 3079 に基づく直交集成板

施工箇所	品名	樹種名	強度等級（曲げ性能）	種別	接着性能（使用環境）	寸法（mm）
	・異等級構成直交集成板 ・同一等級構成直交集成板					

9．合板等

・JAS 0233に基づく普通合板 〈6.5.2〉

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	板面の品質	単板の樹種名	防虫処理
	※5.5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない
	※5.5 ・	※1類 ・2類	広葉樹 ※2等以上 ・ 針葉樹 ※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない

⊙JAS 0233に基づく構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	等級	板面の品質	曲げ強度（強度等級）	防虫処理	単板の樹種名
リビング 床下地	※12 ⊙24	⊙特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ⊙適用しない	
	※12 ・	・特類 ※1類	・1級 ※2級以上	※C-D以上 ・		・適用する ・適用しない	

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ（mm）	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない
			・特類 ・1類	・適用する ・適用しない

屋外又は常時湿潤状態となる場所に使用する場合は、接着の程度を特類とする。

・JAS 0233に基づく天然木化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	化粧板に使用する単板の樹種名	防虫処理
		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない
		・1類 ・2類		・適用する ・適用しない

・JAS 0233に基づく特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ（mm）	接着の程度	表面性能	単板の樹種名	化粧加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類	・F ・FW ・W ・SW		・オーバーレイ ・プリント ・塗装	・適用する ・適用しない

・JIS A 5908に基づくパーティクルボード

施工箇所	種類	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	厚さ（mm）
			※13タイプ ・	・Mタイプ ・Pタイプ	※15 ・
			※13タイプ ・	・Mタイプ ・Pタイプ	※15 ・

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）	曲げ性能（等級）（・常態曲げ試験 ・湿潤曲げ試験）
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級
		・1級 ・2級 ・3級 ・4級

・JIS A 5905に基づくMDF

施工箇所	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ（mm）
・					

10．接合具等

造作材の化粧面の釘打ち 〈6.5.3〉
※隠し釘打ち
・釘頭埋め木
・つぶし頭釘打ち
・釘頭現し
諸金物の形状、寸法及び材質
かすがい
※改修標準仕様書表6.5.3に示す程度の市販品
・
座金
※改修標準仕様書表6.5.4に示す程度の市販品
・
箱金物及び短冊金物
※改修標準仕様書表6.5.5に示す程度の市販品
・

11．接着剤

接着剤のホルムアルデヒド放散量 〈6.5.3、4〉
※F☆☆☆☆
・

12．防腐・防蟻・防虫処理等

・工場における薬剤の加圧注入等 〈6.5.5〉
・改修標準仕様書6.5.5(1)(a)①による加圧注入

適用部材	保存処理性能区分
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4
	・K2 ・K3 ・K4

・改修標準仕様書6.5.5(1)(a)②による加圧式保存処理
保存処理の性能（ ）
インサイジング ・適用する ・適用しない
・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理
薬剤の種類
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)①による
・付属書A（規定）に基づく表面処理用木材保存剤による
・
適用部材（部位） ・図示による
処理方法
※改修標準仕様書6.5.5(1)(b)②による
・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による
・合板、集成材、単板積層材の薬剤の加圧注入等によるK3防腐・防蟻処理
適用部材（部位） ・図示による
・不燃処理木材等
不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
準不燃材料
適用部材（部位） ・図示による
難燃材料
適用部材（部位） ・図示による

13．内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） 〈6.5.6〉
※杉又は松 ・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
※杉又は松 ・
・土間スラブの類の場合の土台、転ばし大引き及び転ばし根太
※ひのき又は保存処理木材 ・

14．窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） 〈6.5.7〉
※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

15．床板張り

・縁甲板及び上がりかまちに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） 〈6.5.8〉
※ひのき ・

16．壁及び天井下地

・壁胴縁、野縁受桟、野縁及び吊木に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合） 〈6.5.9〉
※杉又は松 ・

17．軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 〈6.6.2～4〉
屋外
※25形 ・19形
屋内
※19形 ・25形
屋外の形式及び寸法
野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
・図示による ・
周辺部の端からの間隔
・図示による ・
野縁の間隔
・図示による ・
既存の埋込みインサート
・使用する ・使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
・行う
試験箇所数 ※屋内の場合、当該階において3箇所 ・（ ）箇所
引張試験にて確認する強度
※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの重量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・（ ）N
※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井のふところが3.0mを超える場合
（補強方法 ※図示による ・ ）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）
・屋外の天井における耐震性を考慮した補強
（補強箇所 ※図示による ・ ）
（補強方法 ※図示による ・ ）

18．軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 〈6.7.3、4〉〈表6.7.1〉
※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
・図示による
・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
※図示による ・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
※改修標準仕様書6.7.4(5)による ・

19．ビニル床シート

〈6.8.2、3〉

種類の記号	色柄	厚さ（mm）	備考
※FS（複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ） ⊙ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱ（CF）	※無地 ・マーブル柄 ・柄物	※2.0 ⊙1.8	洗面脱衣室、ﾄｲﾚ

接合部の処理
※熱溶接工法 ・

20．ビニル床タイル

〈6.8.2〉

種類の記号	色柄	寸法（mm）	厚さ（mm）	備考
※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	※300×300 ・450×450 ・	※2.0 ・2.5 ・3.0	
・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・	
・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・300×300 ・450×450 ・	・2.0 ・2.5 ・3.0	
・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・500×500 ・	・4.0 ・	
・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ）	・無地 ・柄物	・	・	

21．特殊機能床材

・帯電防止床シート 〈6.8.2〉
種類 （ ）
性能 （ ）
厚さ（mm） （ ）
・帯電防止床タイル
種類 （ ）
性能 （ ）
寸法（mm） （ ）×（ ）
厚さ（mm） （ ）
・視覚障害者用床タイル
ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
種類 （ ）
形状 （ ）
・耐動荷重性床シート
種類 （ ）
厚さ（mm） （ ）
・防滑性床シート
種類 （ ）
厚さ（mm） （ ）
・防滑性床タイル
種類 （ ）
寸法（mm） （ ）×（ ）
厚さ（mm） （ ）

22．接着剤

〈6.8.2〉
ビニル床シート、ビニル床タイル、ゴム床タイル等接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別
・図示による ・

23．ビニル幅木

材質の種類 〈6.8.2〉
※軟質 ・硬質
高さ（mm）
※60 ・75 ・100
厚さ（mm）
※1.5以上 ・

24．ゴム床タイル

種類 〈6.8.2〉
・単層品 ・積層品
色柄 （ ）
厚さ（mm） （ ）
寸法（mm） （ ）×（ ）

25．下地の工法

〈6.8.3〉
改修標準仕様書6.8.3(1)(ｱ)～(ｳ)以外の下地の工法
・図示による ・

26．カーペット敷き

・織じゅうたん 〈6.9.2、3〉〈表6.9.1〉

織り方	パイル形状	備考
・ウィルトンカーペット ・フェイスツゥフェイスカーペット ・アキスミンスターカーペット	・カットパイル ・ループパイル ・カット/ループパイル	

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の種類等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種 ・B種 ・C種）
帯電性
・適用する ・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

パイル形状	ﾊﾟｲﾙ長さ（mm）	工法	帯電性	備考
・カットパイル	・5～7 ・	※全面接着工法	・適用	
・ループパイル	・4～6 ・	・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法	・非適用	
・カット、ループ併用	・			

下敷き材（グリッパー工法の場合）
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種2号 呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

・タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法（mm）	総厚さ（mm）	備考
※ループパイル	※第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カットパイル	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・第一種 ・第二種		※500×500 ・	※6.5 ・	

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（ ）
種類（ ）
形状等
※図示による ・

24．合成樹脂塗床

〈6.10.2、3〉

種別	施工箇所	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床		・薄膜流しのべ工法 ・厚膜流しのべ工法 ・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			※平滑仕上げ

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

		設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
	宮城県住宅供給公社	R08.07					

工事名称	全葉	図面No
塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A－02/26
図面名称 Scale 特記仕様書2 －		

3 内装改修工事

25. フローリング張り

フローリングのホルムアルデヒドの放散量等 〈6.11.2～6〉
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・

・単層フローリング （フローリングボード1等）
工法
・釘留め工法（・根太張り ・直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・
・単層フローリング （フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
⊙複合フローリング
工法
⊙釘留め工法（・根太張り ⊙直張り ）
・接着工法
樹種
※なら ・ 既存仕上げに準じる。
種別
・A種 ・B種 ⊙C種
接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

26. 畳敷き

種別 〈6.12.2〉
・A種（畳表：・JS ・J1））
・B種
⊙C種（畳床：⊙PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30）
・D種（畳床：・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N）

下地の種類
・標準仕様書表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン ）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1 ・C2）

27. せっこうﾎﾞｰﾄﾞ その他のﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り

MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量 〈6.13.2、3〉
※F☆☆☆☆ ・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(3)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
合板の防虫処理の適用
・行う ・行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

種類等	厚さ（mm）、規格等
木質系セメント板	
・木毛セメント板	※図示による
・硬質（HW） ・中質（MW） ・普通（NW）	・15 ・20 ・25
・木片セメント板	※図示による
・硬質（HF） ・普通（NF）	・12 ・15 ・18 ・21 ・30
繊維強化セメント板	
・けい酸カルシウム板（タイプ2）	※図示による ・6 ・8
普通ボード 0.8FK	
火山性ガラス質複層板（VSボード）	
・火山性ガラス質複層板	※図示による ・
種類 ※図示による ・	
繊維板	
・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ（MDF）	※図示による ・3 ・7 ・9 ・12 ・
・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI） ・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理） ・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ ・未研磨板（RN） ・研磨板（RS） ・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE）	※図示による ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・
・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ ・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-1B） ・天井仕上げ材 ・内装仕上げ材	※図示による ・9 ・12 ・15 ・18
ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ	
・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・無研磨板（VN） ・研磨板（VS）	※図示による ・10 ・12 ・15 ・18 ・
・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ ・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV） ・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO） ・塗装（DC）	※図示による ・10（難燃） ・12（難燃） ・

28. 壁紙張り

吸音材料

・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR）	・9（不燃） ・12（不燃）
・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ	・12（不燃） ・15（不燃）
・凹凸ﾀｲﾌﾟ	
・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号）	※図示による ・25 ・
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K）	・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み） ・

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）	※12.5（不燃） ⊙9.5（準不燃）
⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S）	⊙12.5（⊙不燃 ・準不燃）
・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F）	・12.5（不燃） ・15（不燃）
⊙化粧せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-D）	・ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様 ⊙9.5（準不燃）
・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L）	・9.5
・不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC）	・9.5（不燃）
・化粧なし（下地張り用）	
・化粧あり（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）	

合板類

・普通合板	※5.5
表板の樹種名：	・図示による
板面品質：	
・天然木化粧合板	※図示による
化粧板の単板の樹種名：	・
・特殊加工化粧合板	※図示による
接着の程度	・
単板の樹種名	
化粧加工の方法	
・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾞﾘｯﾄ ・塗装 ・	

天井のボード類（ロックウール吸音板を除く）の重ね張りを行う場合
※図示による ・
合板類の張付け
・A種 ・B種 ・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
⊙ベベルエッジ ・スクェアエッジ
化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ ・ﾌﾞﾘｯﾄ ・塗装 ・ ）

ホルムアルデヒド放散量 〈6.14.2、3〉〈表6.14.1～表6.14.3〉
※F☆☆☆☆ ・

施工箇所	壁紙の種類								備考
	紙	繊維	塩化ﾋﾞﾆﾙ	ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ	無機質	その他	防火性能		
	・	・	⊙	・	・	・	・不燃	⊙準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	
	・	・	・	・	・	・	・不燃	・準不燃	

接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・
モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種
せっこうボード面及びけい酸カルシウム板面の素地ごしらえの種別
※B種 ・A種

29. モルタル塗り

モルタル 〈6.15.3、5、6〉
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（ ） 形状（※図示による ・ ）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度） ・
目地の種類
※押し目地 ・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25㎜を超える場合の下地処理
・図示による ・

30. タイル張り

伸縮目地の位置 〈6.16.2～4〉
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
※図示による ・
床タイル以外
※図示による ・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所： ） ・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による） ・行わない

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

既調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既調合目地材

31. セルフレベリング材塗り

壁タイル張りの工法
内外装タイル
・密着張り ・改良圧着張り

内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り ・モザイクタイル張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状/寸法（mm）	再生材料の適用	吸水率 Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり 施ゆう	無ゆう	役物 有	無	色 標準	特注	耐凍害性 有	無	耐滑り性	
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・
				・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆ ・

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
・

塗厚（mm） 〈6.17.2、3〉
・

4 塗装改修工事

①. 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 〈7.1.3〉
※F☆☆☆☆ ・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所： ）

②. 下地調整

塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲 〈7.2.1～7〉
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（ 箇所）
・行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種 ・	—
鉄鋼面	※RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面	※RB種 ・	—
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等）	※RB種 ・RA種	—
モルタル面及びせっこうプラスター面	※RB種 ・	・行う ・行わない
コンクリート面（DP以外）ALCパネル面	※RB種 ・	・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・RA種 ・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
コンクリート面（DP）	・RB種 ・RC種	・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※RB種 ・	—

③. 素地ごしらえ 〈7.3.2～7〉

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※A種 ・B種
	透明塗料塗りの場合	※B種 ・A種
鉄鋼面（DP以外）		※C種 ・A種 ・B種
鉄鋼面（DPのみ）		※B種 ・A種 ・C種
亜鉛めっき鋼面	（鋼製建具等以外）	・A種 ・B種
	（鋼製建具等）	※B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※B種 ・A種
コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面		※B種 ・A種
押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP）		・A種 ・B種
コンクリート面（DPのみ）		※B種 ・A種
せっこうボード面及びその他ボード面		※B種 ・A種

4. 錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別 〈7.4.2、3〉

素地面	塗装の種類		塗料の種別	工程の種別
鉄鋼面	SOP 錆止め塗装のまま（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	As種	※C種 ・
		新規見え掛り	As種	※A種 ・
		新規見え隠れ	As種	※B種 ・
	EP-G（工程の種別は表7.4.3）	塗替え	※Bs種 ・As種	※C種 ・
		新規見え掛り	※Bs種 ・As種	※A種 ・
		新規見え隠れ	※Bs種 ・As種	※B種 ・
	DP（工程の種別は表7.4.4）	塗替え	7.4.2(1)(イ)(b)による。	・B種（下地調整RB種） ・C種（下地調整RC種）
		新規	7.4.2(1)(イ)(a)による。	・A種
亜鉛めっき鋼面	SOP（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	※Az種 ・Bz種	※C種 ・
		新規 鋼製建具等	※Az種 ・Bz種	※A種 ・
		新規 その他	※Bz種 ・	※B種 ・
	EP-G（工程の種別は表7.4.5）	塗替え	Cz種	※C種 ・
		新規 鋼製建具等	Cz種	※A種 ・
		新規 その他	Cz種	※B種 ・
	DP（工程の種別は表7.4.6）	塗替え	Bz種	—
		新規	Bz種	—

⑤. 塗装

〈7.5.2～7.12.2〉

塗装の種類	塗装面	工程 塗替え	工程 新規
・合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）種類	木部屋外	※B種 ・	※A種 ・
	木部屋内	※B種 ・	※B種 ・
	鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※A種 ・	※B種 ・
※1種 ・2種	亜鉛ﾒｯｷ鋼面（鋼製建具以外）	※B種 ・	※B種 ・
・クリヤラッカー塗り（CL）		※B種 ・A種 種類：	※B種 ・A種 種類：
・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り（NAD）		※B種 ・A種	※B種 ・A種
・耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（ ）級	・	
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級	・	
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・A-1種 ・ ・B-1種 ・ ・C-1種 ・
・つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP-G）	コンクリート面等	※B種 ・	※B種 ・A種
	屋内の木部	※B種 ・	※A種 ・
	屋内の鉄鋼面	※B種 ・	※B種 ・A種
	屋内の亜鉛めっき面	※A種 ・	※A種 ・B種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り（EP）		※B種 ・	※B種 ・A種
・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り（EP-T）		※B種 ・	・A種 ・B種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※B種 ・	※B種 ・A種
・ピグメントステイン塗り			
⊙木材保護塗料塗り（WP）		※B種 ・A種	※B種 ・A種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

クリヤラッカー塗りA種の工程2の適用
・適用しない
・適用する（着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤）
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない

凡例

①	3DK-2F-4*4S1
②	3DK-2F-4*4S2
③	3DK-2F-3*5S
④	3DK-2F-4*4N
⑤	3DK-2F-3*5N
⑥	2DK-2F-3*5S
⑦	2DK-2F-3*5N
⑧	2DK-1F-4*4S
⑨	2DK-1F-4*4N
⑩	1LDK-1F-3*5N

街区-宅地番号
面積

第4住宅
第4住宅
第3住宅
第3住宅
第2住宅
第2住宅
第1住宅

ひまわり幼稚園

1街区
2街区
3街区
4街区
5街区
6街区
7街区

集会所

工事対象：塩竈市字伊保石５番地２５
塩竈市営伊保石住宅２５号棟

カンナの花畑

N

S：1/600

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27	図面No A－04/26
		R08. 07						図面名称 配置図 Scale －		

建物概要書	工事名称	塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事			
	建築場所	宮城県塩竈市字伊保石５番地２５（塩竈市営伊保石住宅２５号棟）			
	敷地状況	用途地域	第一種低層住居専用地域	防火地域	指定なし
		その他の区域，地域	法第２２条区域		
	敷地面積		建築面積	６５．９７㎡	
	建基法上床面積	１階：５４．６５㎡，２階：２５．６７㎡	延床面積	８０．３２㎡	
	建ぺい率		容積率		
	構造規模	木造・２階建て	道　路		
	最高の高さ	６．７１０ｍ	最高の軒の高さ	６．３２０ｍ	
	付帯設備	電気設備：動力，電灯コンセント，照明器具，テレビ，電話，インターホン，２４時間換気，住宅用火災警報器			
		給排水衛生設備：給水（市水・井水），排水，給湯，衛生器具，し尿浄化槽，ガス（都市ガス１３Ａ・プロパン）			
	備　考				

※特記事項

・　工事着手時に全体清掃を行い、煤汚れ以外の汚れを除去すること。
・　火災による煤汚れは、特殊清掃にて除去するものとし、対象は撤去・新設(取替)する以外の個所とする。
　なお、建具など取外しが可能なものは、取り外して作業を行い、除去残しがないようにすること。
　また、特殊清掃にて除去できない場合は、監督員と協議すること。
・　工事完成時も全体清掃を行うこと。
・　電気設備・給排水衛生設備については、完成時不具合がないことを確認すること。
・　完成後、和室の畳には養生シートを敷き詰め、窓には日焼け止めカーテンを設置すること。

外　部　仕　上（現　況）

外部仕上表	屋　根	仕上	ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.35勘合式竪ﾊｾﾞ葺き，雪止め付き
		下地	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ940，野地板合板t12
	軒　裏		軒天ﾎﾞｰﾄﾞt12　塗装板(一部有孔ﾎﾞｰﾄﾞ)
	外　壁	仕上	窯業系ｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞt14 塗装品(防火構造第：PC030BE-9201号)一部杉板t15貼(宮城県産)外装用木材保護塗料塗り
		下地	透湿防水ｼｰﾄ，通気胴縁，構造用合板t9(針葉樹合板)
	破風・鼻隠し		ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板包み
	雨　樋		軒樋：硬質塩ビ製　丸樋，竪樋：硬質塩ビ製60φ　丸樋
	バルコニー		ｱﾙﾐ既製品
	建　具		ｱﾙﾐ樹脂複合ｻｯｼ(ｶﾗｰ)ﾍﾟｱｶﾞﾗｽ
	根　廻　り		ﾓﾙﾀﾙ刷毛引き仕上げ
	ポ　ー　チ		ｺﾝｸﾘｰﾄ金ｺﾞﾃ押え
	基　礎		鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造・べた基礎，床下換気：基礎ﾊﾟｯｷﾝt20(有効換気面積：75cm²／m)
	断熱材		1階床下：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ3種bt65
			外壁・屋根直下の天井：高性能ｸﾞﾗｽｳｰﾙ16Kt105　防湿層付(防湿ﾌｨﾙﾑ50μ)
			浴室基礎立上り(内周部)：A種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温板3種t50

外　部　仕　上（復旧工事仕様）

外部仕上表	屋　根	仕上	既存のまま
		下地	既存のまま
	軒　裏		既存のまま
	外　壁	仕上	既存のまま　※ 煤汚れ箇所については、清掃(特殊清掃)を行う
		下地	既存のまま
	破風・鼻隠し		既存のまま
	雨　樋		既存のまま
	バルコニー		既存のまま
	建　具		既存のまま + 清掃(特殊清掃)
	根　廻　り		既存のまま
	ポ　ー　チ		既存のまま
	基　礎		既存のまま
	断熱材		1階床下：既存のまま　※ ﾘﾋﾞﾝｸﾞについては、全て入替えとする。
			外壁・屋根直下の天井：既存のまま
			浴室基礎立上り(内周部)：既存のまま

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称：塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉：27
		R08.07		齋藤	峯	千葉	早坂	図面名称：建物概要、外部仕上表　Scale：—	図面No：A－05/26

内　部　仕　上（現　況）

内部仕上表	階	室名		床	シックハウス内装制限 FL	巾木	シックハウス内装制限 H		壁	シックハウス内装制限 H	廻り縁	シックハウス内装制限 H		天井	シックハウス内装制限 CH	備考
	1	玄関	下地	ﾓﾙﾀﾙ	規制対象外	玄関巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	手摺
			仕上	磁器質ﾀｲﾙ100角	－15	磁器質ﾀｲﾙ100角		仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	2,415	上り框
		ホール	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	2,400	
		ダイニング キッチン	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	PBt9.5	F☆☆☆☆	ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝL=2,100，ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ、水栓、給気口
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ + ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙt1.2(流し前)			35	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ，ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)
		リビング	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	PBt9.5	F☆☆☆☆	給気口，窓手摺
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ，ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)
		和室６帖	下地	構造用合板t24	規制対象外	ﾀﾀﾐ寄せ	規制対象外	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	PBt9.5	F☆☆☆☆	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)，ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ
			仕上	ﾀﾀﾐt55	±0			仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	給気口
		洗面脱衣室	下地	構造用合板t24+合板t9	規制対象外	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	防水PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	PBt9.5	規制対象外	洗面台，ﾀｵﾙ掛けL=500，ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ，手摺取付補強
			仕上	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	床下点検口450×450，天井点検口450×450・600×600
		トイレ	下地	構造用合板t24+合板t9	規制対象外	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	便器、紙巻器，ﾀｵﾙ掛けL=300，手摺L型
			仕上	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	勾配天井	
		浴室	下地	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ仕様				下地	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ仕様				下地	ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ仕様		ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ(1616)
			仕上	FRP				仕上	化粧鋼板複合ﾊﾟﾈﾙ				仕上	化粧鋼板複合ﾊﾟﾈﾙ		換気扇
		押入	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	四分一		下地		規制対象外			下地		規制対象外	中棚，枕棚
			仕上	ﾍﾞﾆﾔ合板t12	±0			仕上	押入ﾎﾞｰﾄﾞ				仕上	押入ﾎﾞｰﾄﾞ	2,400	

ビニールクロス：ＱＭ－○○○○（準不燃材料使用），ＰＢt12.5：ＮＭ－８６１９，化粧ケイカル板t6：ＮＭ－８４２４，化粧ＰＢt9.5（ジプトーン）：ＱＭ－０５２４　※内装建具はすべてＦ☆☆☆☆とする。　※天井裏等の使用建築材料はすべてＦ☆☆☆とする。　※クロルピリホス、石綿の使用なし。

内　部　仕　上（復旧工事仕様）

内部仕上表	階	室名		床	シックハウス内装制限 FL	巾木	シックハウス内装制限 H		壁	シックハウス内装制限 H	廻り縁	シックハウス内装制限 H		天井	シックハウス内装制限 CH	備考
	1	玄関	下地	既存のまま	規制対象外	既存のまま ＋清掃(特殊清掃)	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	手摺(清掃(特殊清掃))
			仕上	既存のまま ＋ 清掃(特殊清清掃)	－15	既存のまま ＋清掃(特殊清掃)		仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	2,415	上り框(清掃(特殊清掃))
		ホール	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0	＋清掃(特殊清掃)	60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	2,400	
		ダイニング キッチン	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃(特殊清掃)	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt9.5	F☆☆☆☆	ｾｸｼｮﾅﾙｷｯﾁﾝL=2,100(清掃(特殊清掃))，ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ(取替)， 水栓(清掃(特殊清掃))，給気口(取替)
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ ｷｯﾁﾝﾊﾟﾈﾙt1.2：清掃(特殊清掃)			35	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(取替)，ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)(清掃(特殊清掃))
		リビング	下地	既存撤去の上、構造用合板t24	F☆☆☆☆	既存のまま	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt9.5	F☆☆☆☆	給気口(取替)，窓手摺(清掃(特殊清掃))
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0	＋清掃(特殊清掃)	60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(取替)，ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)(清掃(特殊清掃))
		和室６帖	下地	既存のまま	規制対象外	既存のまま ＋	規制対象外	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt9.5	F☆☆☆☆	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)(清掃(特殊清掃))，ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ(取替)
			仕上	既存撤去の上、ﾀﾀﾐt55	±0	塗装(木材保護塗料)		仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	給気口(取替)
		洗面脱衣室	下地	既存のまま	規制対象外	既存のまま ＋清掃(特殊清掃)	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、防水PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt9.5	規制対象外	洗面台(清掃(特殊清掃))，ﾀｵﾙ掛けL=500(清掃(特殊清掃))， ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ(清掃(特殊清掃))，手摺取付補強(既存のまま)
			仕上	既存撤去の上、ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	床下点検口450×450，天井点検口450×450・600×600 ※ 点検口枠は清掃(特殊清掃)，仕上材は取替
		トイレ	下地	既存のまま	規制対象外	既存のまま ＋清掃(特殊清掃)	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、 塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	便器(清掃(特殊清掃))，紙巻器(清掃(特殊清掃))， ﾀｵﾙ掛けL=300(清掃(特殊清掃))，手摺L型(清掃(特殊清掃))
			仕上	既存撤去の上、ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	勾配天井	
		浴室	下地	既存撤去の上、ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ新設				下地	既存撤去の上、ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ新設				下地	既存撤去の上、ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ新設		ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽ(1616)(取替) ※LIXIL リデア同等品
			仕上	既存撤去の上、FRP				仕上	既存撤去の上、化粧鋼板複合ﾊﾟﾈﾙ				仕上	既存撤去の上、化粧鋼板複合ﾊﾟﾈﾙ		換気扇(清掃(特殊清掃))
		押入	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存撤去の上、四分一		下地		規制対象外			下地		規制対象外	中棚，枕棚(取替)
			仕上	既存撤去上、ﾍﾞﾆﾔ合板t12	±0			仕上	既存撤去の上、押入ﾎﾞｰﾄﾞ				仕上	既存撤去の上、押入ﾎﾞｰﾄﾞ	2,400	

ビニールクロス：ＱＭ－○○○○（準不燃材料使用），ＰＢt12.5：ＮＭ－８６１９，化粧ケイカル板t6：ＮＭ－８４２４，化粧ＰＢt9.5（ジプトーン）：ＱＭ－０５２４　※内装建具はすべてＦ☆☆☆☆とする。　※天井裏等の使用建築材料はすべてＦ☆☆☆とする。　※クロルピリホス、石綿の使用なし。

宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称：塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事
	R08.07		齋藤	伊藤	千葉	阪	図面名称：１階内部仕上表　Scale：－

全葉	図面No
27	A－06/26

内　部　仕　上（現　況）

	階	室　名	床		シックハウス内装制限 FL	巾　木	シックハウス内装制限 H	壁		シックハウス内装制限 H	廻り縁	シックハウス内装制限 H	天　井		シックハウス内装制限 CH	備　考
内部仕上表	2	廊　下	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製	F☆☆☆☆	下地		F☆☆☆☆	天井点検口450×450
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	
		洋室６帖	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製	F☆☆☆☆	下地	PBt9.5	F☆☆☆☆	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)，窓手摺：2段（既製品）
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ，給気口
		クローゼット	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製	F☆☆☆☆	下地		F☆☆☆☆	枕棚，ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	天井点検口450×450
		物　入	下地	構造用合板t24	F☆☆☆☆	化粧巾木	F☆☆☆☆	下地		規制対象外			下地		規制対象外	枕棚
			仕上	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	押入ﾎﾞｰﾄﾞ				仕上	押入ﾎﾞｰﾄﾞ	2,400	
		外部物入	下地		規制対象外	基礎ｺﾝｸﾘｰﾄ	規制対象外	下地		F☆☆☆☆			下地			可動棚4段
			仕上	土間ｺﾝｸﾘｰﾄ				仕上	耐水ﾗﾜﾝ合板t12				仕上	表し		
	共通	階段室	下地		F☆☆☆☆	集成側板	F☆☆☆☆	下地	PBt12.5	F☆☆☆☆	塩ビ製	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	階段手摺：集成材35φ
			仕上	集成踏み板				仕上	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	窓手摺

ビニールクロス：ＱＭ－○○○○（準不燃材料使用），ＰＢt12.5：ＮＭ－８６１９，化粧ケイカル板t6：ＮＭ－８４２４，化粧ＰＢt9.5（ジブトーン）：ＱＭ－０５２４　※内装建具はすべてＦ☆☆☆☆とする。　※天井裏等の使用建築材料はすべてＦ☆☆☆とする。　※クロルピリホス、石綿の使用なし。

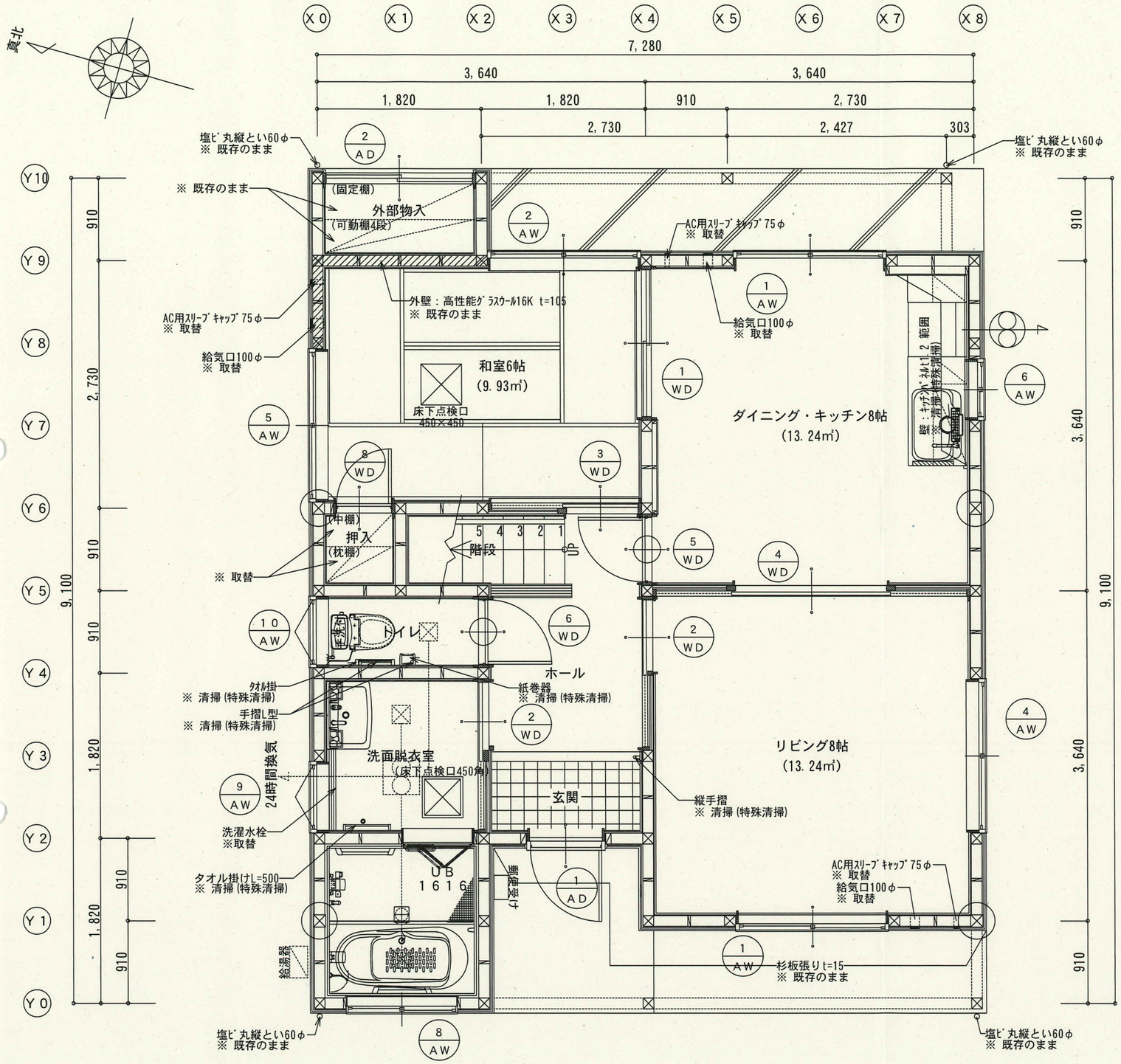
内　部　仕　上（復旧工事仕様）

	階	室　名	床		シックハウス内装制限 FL	巾　木	シックハウス内装制限 H	壁		シックハウス内装制限 H	廻り縁	シックハウス内装制限 H	天　井		シックハウス内装制限 CH	備　考
内部仕上表	2	廊　下	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		F☆☆☆☆	天井点検口450×450 ※ 点検口枠は清掃（特殊清掃），仕上材は取替
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	
		洋室６帖	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt9.5	F☆☆☆☆	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)（清掃（特殊清掃）），窓手摺：2段（清掃（特殊清掃））
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ	2,400	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ（取替），給気口（取替）
		クローゼット	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		F☆☆☆☆	枕棚（取替），ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ（取替）
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	天井点検口450×450 ※ 点検口枠は清掃（特殊清掃），仕上材は取替
		物　入	下地	既存のまま	F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）	F☆☆☆☆	下地		規制対象外			下地		規制対象外	枕棚（取替）
			仕上	既存撤去の上、ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12	±0		60	仕上	既存撤去の上、押入ﾎﾞｰﾄﾞ				仕上	既存撤去の上、押入ﾎﾞｰﾄﾞ	2,400	
		外部物入	下地		規制対象外	既存のまま ＋清掃	規制対象外	下地		F☆☆☆☆			下地			可動棚4段（清掃）
			仕上	既存のまま ＋清掃				仕上	既存のまま ＋清掃				仕上	表し		
	共通	階段室	下地		F☆☆☆☆	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）	F☆☆☆☆	下地	既存撤去の上、PBt12.5	F☆☆☆☆	既存撤去の上、塩ビ製廻り縁	F☆☆☆☆	下地		規制対象外	階段手摺（清掃（特殊清掃））
			仕上	既存のまま ＋清掃（特殊清掃）				仕上	既存撤去の上、ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ			35	仕上	既存撤去の上、化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾞﾄｰﾝ)	2,400	窓手摺（清掃（特殊清掃））

ビニールクロス：ＱＭ－○○○○（準不燃材料使用），ＰＢt12.5：ＮＭ－８６１９，化粧ケイカル板t6：ＮＭ－８４２４，化粧ＰＢt9.5（ジブトーン）：ＱＭ－０５２４　※内装建具はすべてＦ☆☆☆☆とする。　※天井裏等の使用建築材料はすべてＦ☆☆☆とする。　※クロルピリホス、石綿の使用なし。

宮城県住宅供給公社	設計年月日 R08.07		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
					千葉	

工事名称	全葉	図面 No
塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A－07/26
図面名称 ２階内部仕上表　Scale －		

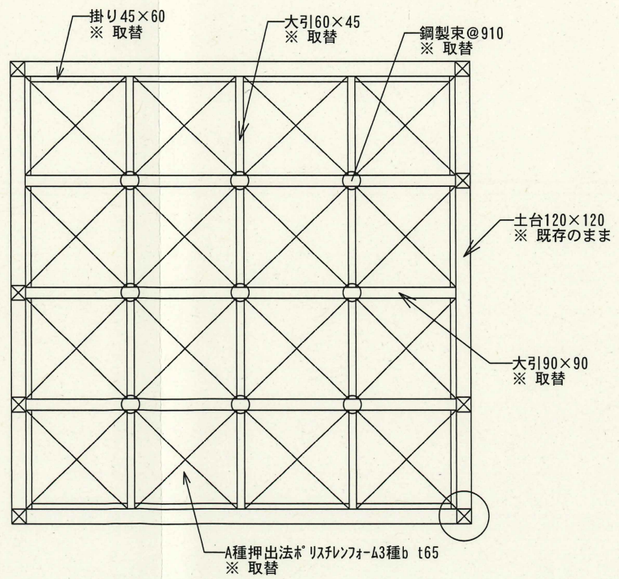


1階平面図　S:1/50

特記事項
通し柱：１３５×１３５ ※通し柱以外の隅柱は通し柱と同等以上の金物補強とする。
管　柱：１２０×１２０
換気扇 キッチン：１５０φ　※ 取替 トイレ：１００φ　※ 清掃(特殊清掃) 浴室：１００φ　※ 清掃(特殊清掃)

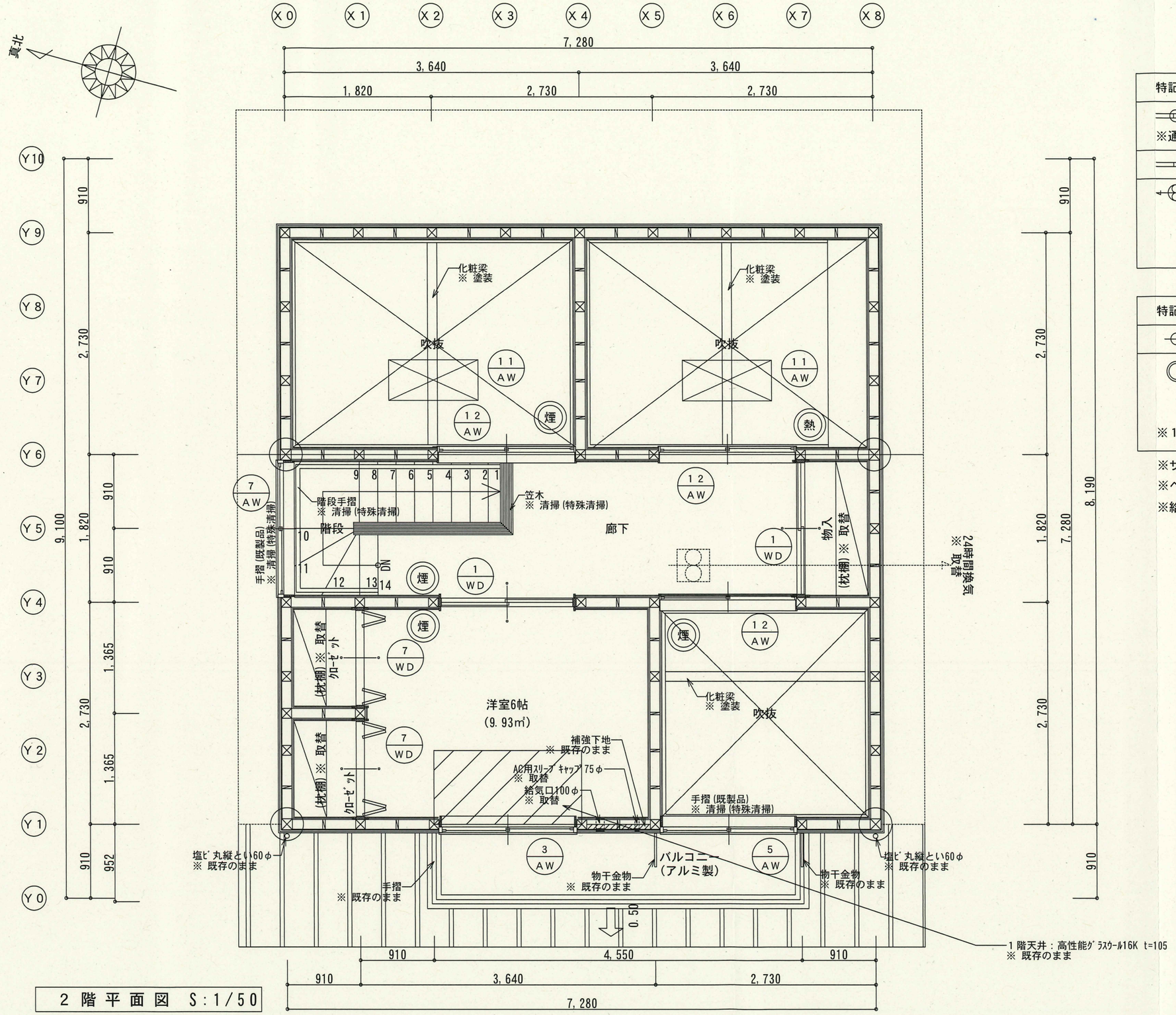
特記事項
アンダーカット又はガラリ付ドア
住宅用火災警報器（ＮＳマーク品） 台所：熱式警報器（定温式）　※ 取替 寝室：煙式警報器（光電式）　※ 取替 ※１ｍで７０ｄＢ以上の警報音を1分継続可能

※サッシ上端：特記なきはＦＬ＋２，０００とする。
※ペアガラス
※給気口100φは、三菱製P-13WQU同等品とする。



リビング床伏図　S:1/50

宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称	全葉	図面No
	R08.07						塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A－08/26
							図面名称 1階平面図，リビング床伏図　Scale 1/50		



2 階 平 面 図 S:1/50

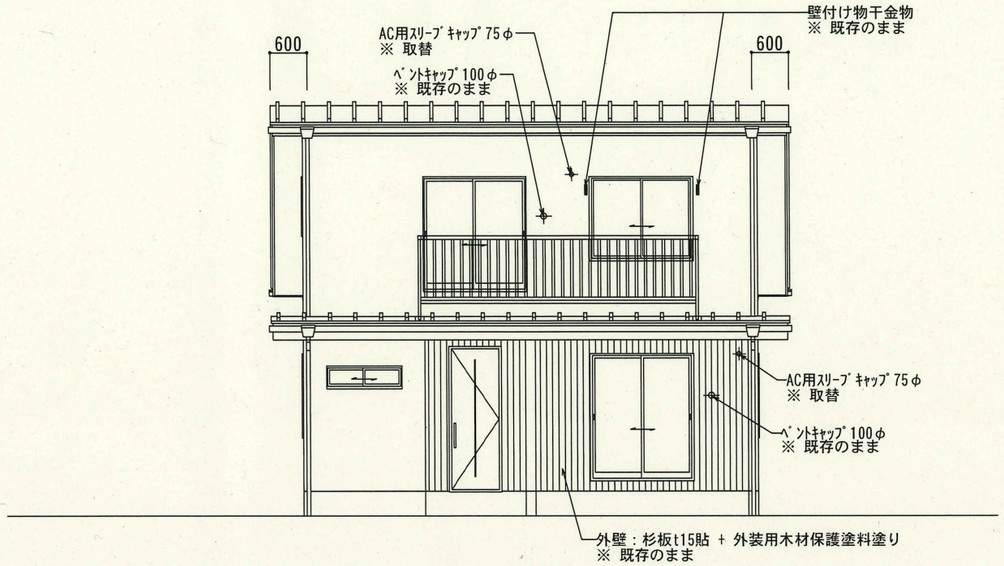
特記事項
通し柱：１３５×１３５
※通し柱以外の隅柱は通し柱と同等以上の金物補強とする。
管　柱：１２０×１２０
換気扇 キッチン：１５０φ　※ 取替 トイレ：１００φ　※ 清掃(特殊清掃) 浴室：１００φ　※ 清掃(特殊清掃)

特記事項
アンダーカット又はガラリ付ドア
住宅用火災警報器（ＮＳマーク品） 台所：熱式警報器（定温式）　※ 取替 寝室：煙式警報器（光電式）　※ 取替 ※１ｍで７０ｄＢ以上の警報音を1分継続可能

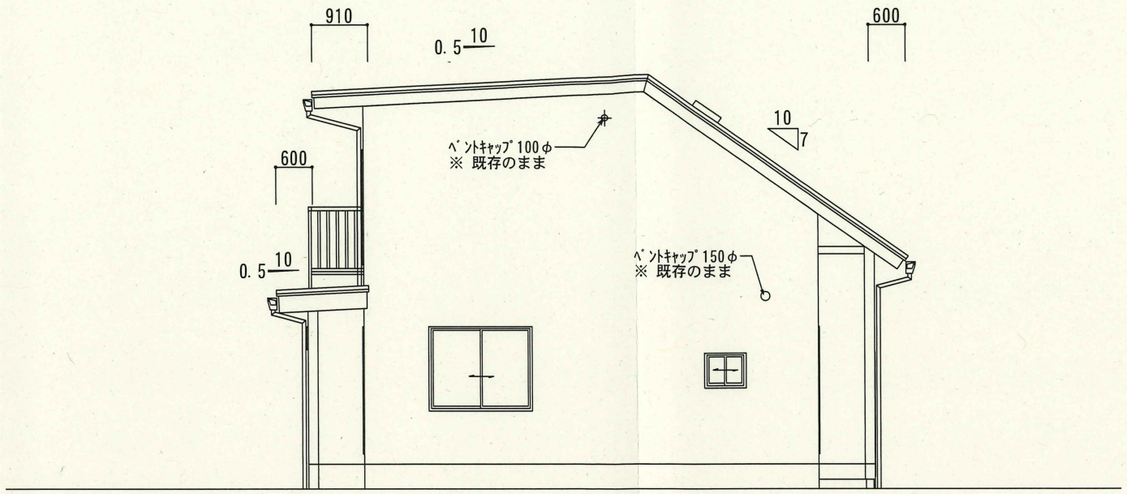
※サッシ上端：特記なきはＦＬ＋２，０００とする。
※ペアガラス
※給気口100φは、三菱製P-13WQU同等品とする。

宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
	R08.07		齋藤	千葉	千葉	坂

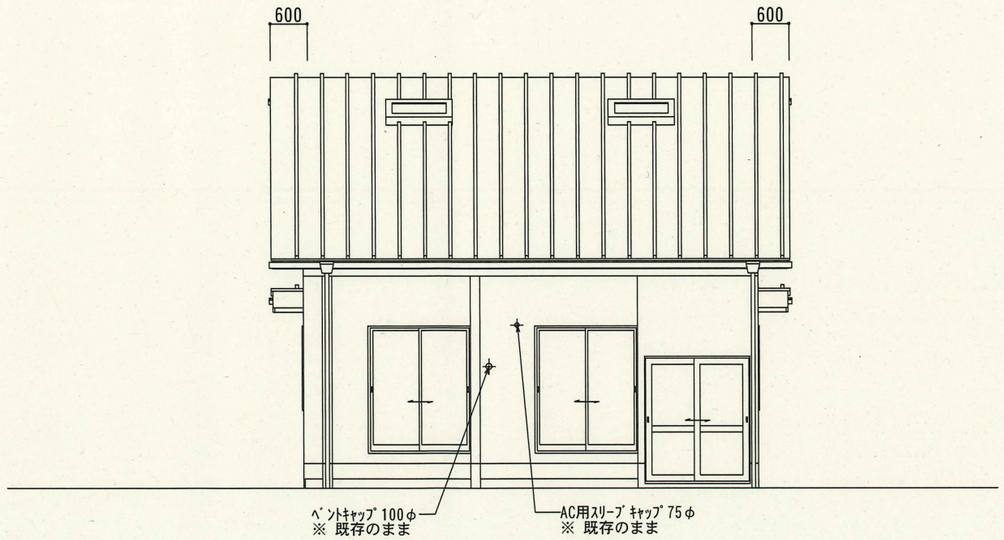
工事名称	全葉	図面 No
塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A－09/26
図面名称 2階平面図　Scale 1/50		



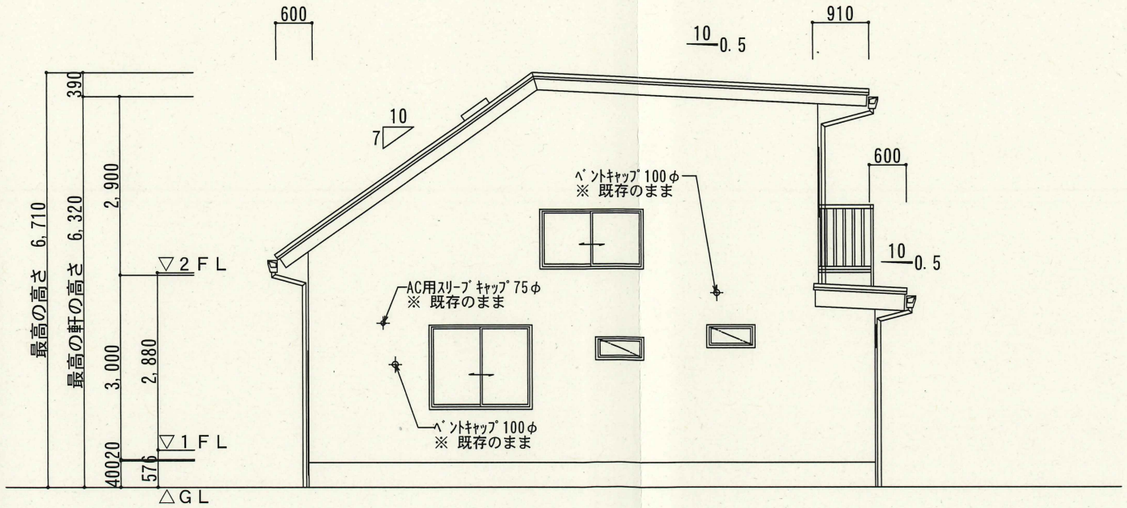
西側 立面図 S:1/100



南側 立面図 S:1/100

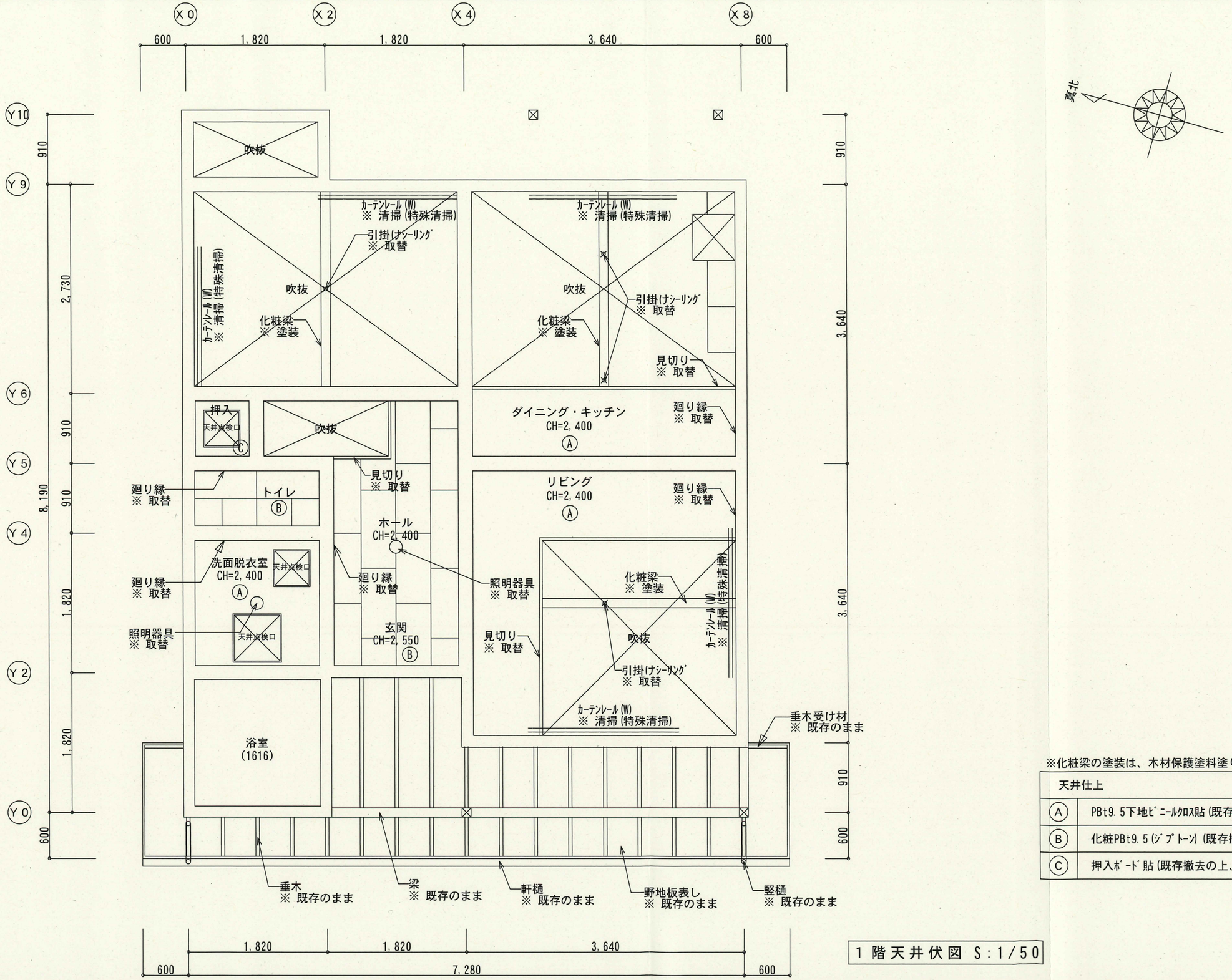


東側 立面図 S:1/100



北側 立面図 S:1/100

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称	全葉	図面 No
		R08. 07						塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A－10/26
								図面名称 立面図 Scale 1/100		

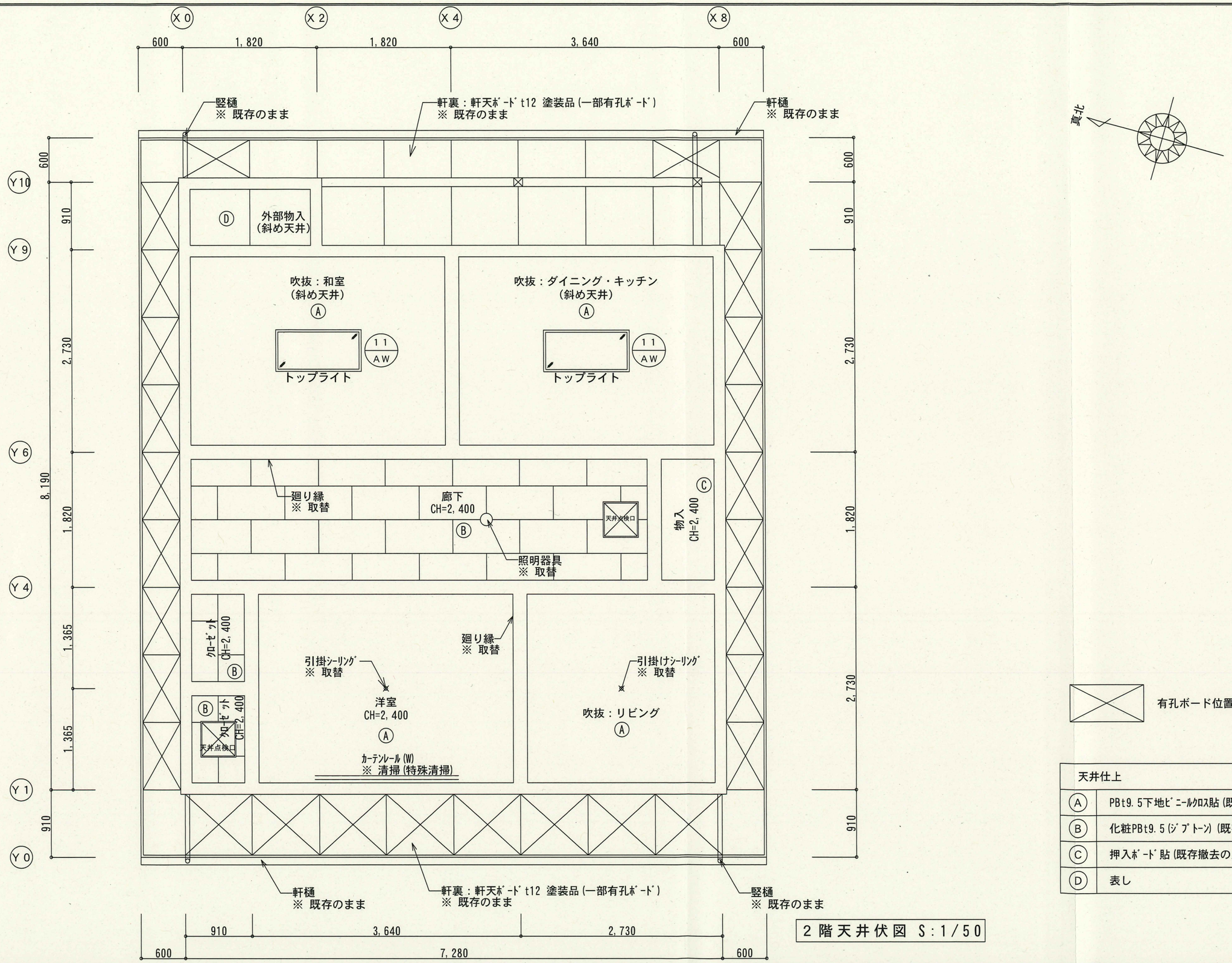


1階天井伏図 S:1/50

※化粧梁の塗装は、木材保護塗料塗りとする。

天井仕上	
A	PBt9.5下地ビニールクロス貼(既存撤去の上、新設)
B	化粧PBt9.5(ジプトーン)(既存撤去の上、新設)
C	押入ボード貼(既存撤去の上、新設)

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27	図面No A−11/26
		R08.07						図面名称 1階天井伏図 Scale 1/50		

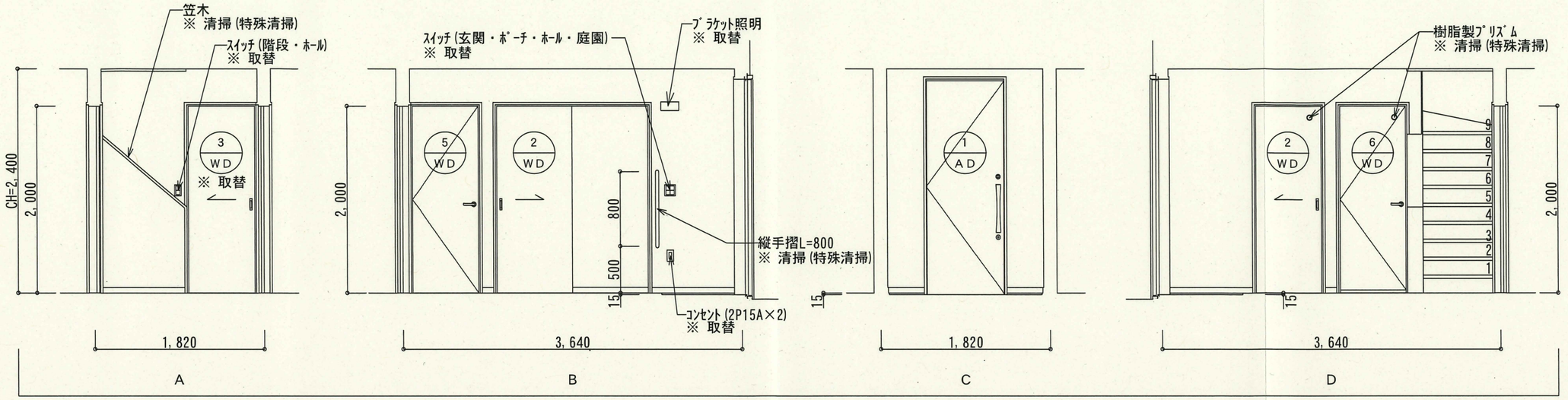


有孔ボード位置を示す

天井仕上	
Ⓐ	PBt9.5下地ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼(既存撤去の上、新設)
Ⓑ	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)(既存撤去の上、新設)
Ⓒ	押入ﾎﾞｰﾄﾞ貼(既存撤去の上、新設)
Ⓓ	表し

2階天井伏図 S:1/50

宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27
	R08.07		齋藤	千葉	千葉	早坂	図面名称 2階天井伏図 Scale 1/50	図面No A-12/26



玄関・ホール

※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

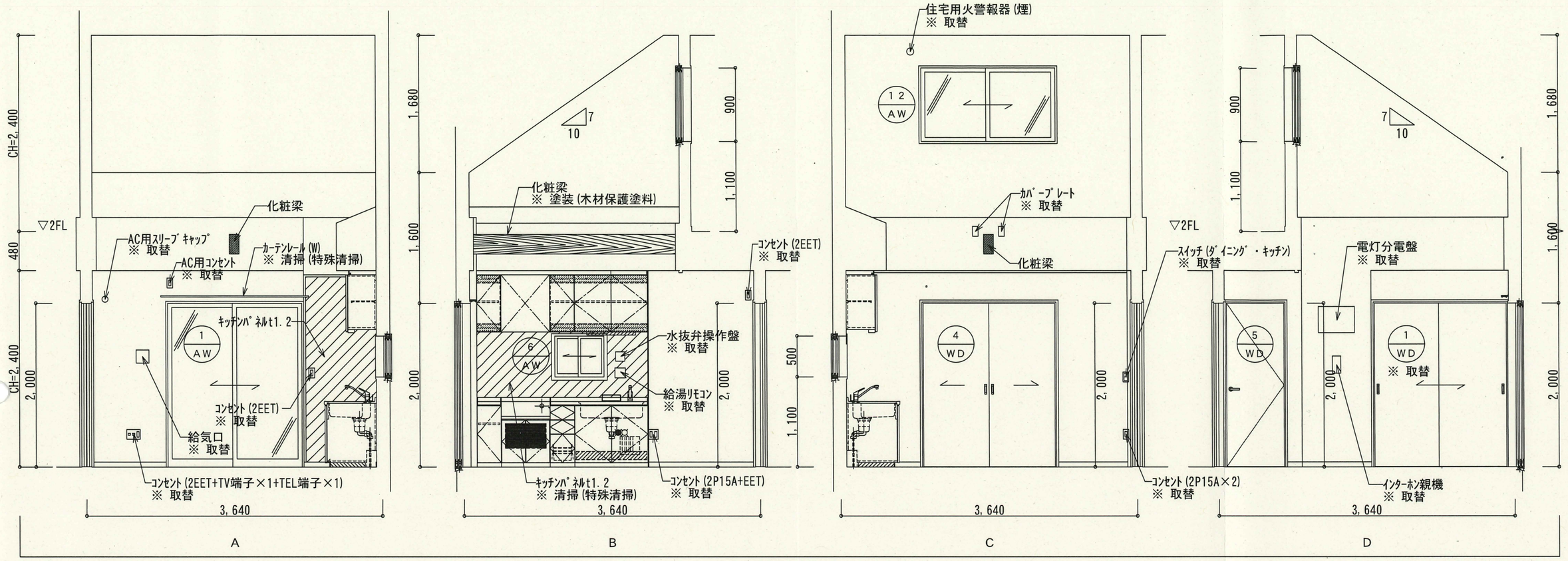
《玄関》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 化粧PBt9.5新設	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	玄関巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	玄関巾木
	磁器質ﾀｲﾙ100角貼	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	磁器質ﾀｲﾙ100角貼
床	ﾓﾙﾀﾙ下地	既存のまま	ﾓﾙﾀﾙ下地
	磁器質ﾀｲﾙ100角貼	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	磁器質ﾀｲﾙ100角貼
備考	手摺	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	手摺
	上り框	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	上り框

《ホール》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 化粧PBt9.5新設	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り
備考	手摺	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	手摺
	上り框	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	上り框

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27	図面No A−13/26
		R08.07		齋藤	高橋	千葉	早坂	図面名称 展開図1 Scale 1/50		



ダイニング・キッチン

※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《ダイニング・キッチン》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	PBt9.5下地	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → PBt9.5新設	PBt9.5下地
	ビニールクロス貼	既存撤去 → ビニールクロス新設	ビニールクロス貼
廻り縁	塩ビ製廻り縁	既存撤去 → 塩ビ製廻り縁新設	塩ビ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ビニールクロス貼	既存撤去 → ビニールクロス新設	ビニールクロス貼
	キッチンパネルt1.2貼	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	キッチンパネルt1.2貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	フローリングt12張り	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → フローリングt12新設	フローリングt12張り
備考	セクショナルキッチン、水栓	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	セクショナルキッチン、水栓
	レンジフード	既存撤去 → レンジフード新設	レンジフード
	エアコン用スリーブキャップ	既存撤去 → エアコン用スリーブキャップ新設	エアコン用スリーブキャップ
	給気口(100φ)	既存撤去 → 給気口(100φ)新設	給気口(100φ)
	カーテンレール(W)	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	カーテンレール(W)

宮城県住宅供給公社

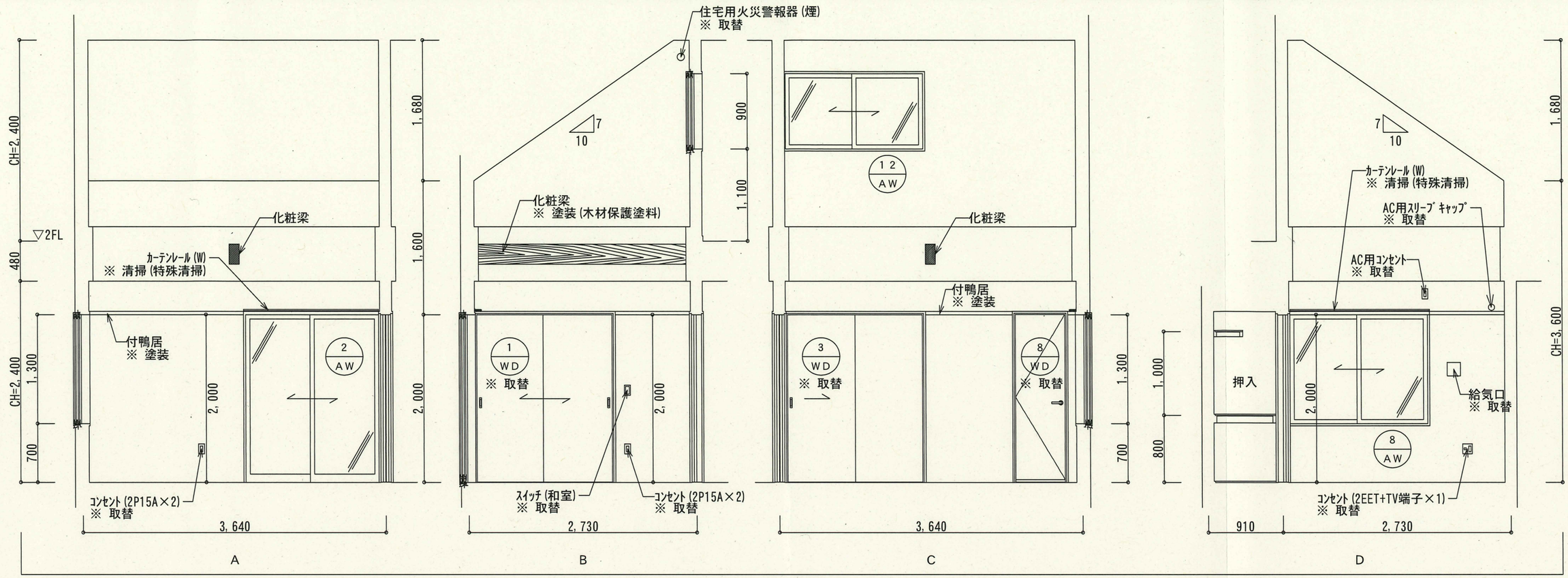
設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
R08.07					

工事名称: 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面名称: 展開図2　Scale 1/50

全葉: 27

図面No: A−14/26



和室６帖

※ 和室内の木部(枠・付鴨居・畳寄等)は、清掃(特殊清掃)後、塗装(木材保護塗料)仕上とする。

《和室６帖》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	PBt9.5下地	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → PBt9.5新設	PBt9.5下地
	ビニールクロス貼	既存撤去 → ビニールクロス新設	ビニールクロス貼
廻り縁	塩ビ製廻り縁	既存撤去 → 塩ビ製廻り縁新設	塩ビ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ビニールクロス貼	既存撤去 → ビニールクロス新設	ビニールクロス貼
巾木	タタミ寄せ	既存のまま → 塗装	タタミ寄せ
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	タタミt55敷き	既存撤去 → タタミt55新設	タタミt55敷き
備考	エアコン用スリーブ キャップ	既存撤去 → エアコン用スリーブ キャップ新設	エアコン用スリーブ キャップ
	給気口(100φ)	既存撤去 → 給気口(100φ)新設	給気口(100φ)
	カーテンレール(W)	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	カーテンレール(W)
	床下点検口	枠：既存のまま → 清掃(特殊清掃)	床下点検口
		仕上：既存撤去 → 復旧後仕上新設	

《押入》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	押入ボードt9.5	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → 押入ボードt9.5新設	押入ボードt9.5
廻り縁	塩ビ製廻り縁	既存撤去 → 塩ビ製廻り縁新設	塩ビ製廻り縁
壁	押入ボードt12.5	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → 押入ボードt12.5新設	押入ボードt12.5
巾木	四分一	既存撤去 → 四分一新設	四分一
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ベニア合板t12張り	既存撤去(ビス・釘抜きまで) → ベニア合板t12新設	ベニア合板t12張り
備考	中棚・枕棚	既存撤去 → 中棚・枕棚新設	中棚・枕棚
	天井点検口	枠：既存のまま → 清掃(特殊清掃)	天井点検口
		仕上：既存撤去 → 改修後仕上新設	

宮城県住宅供給公社

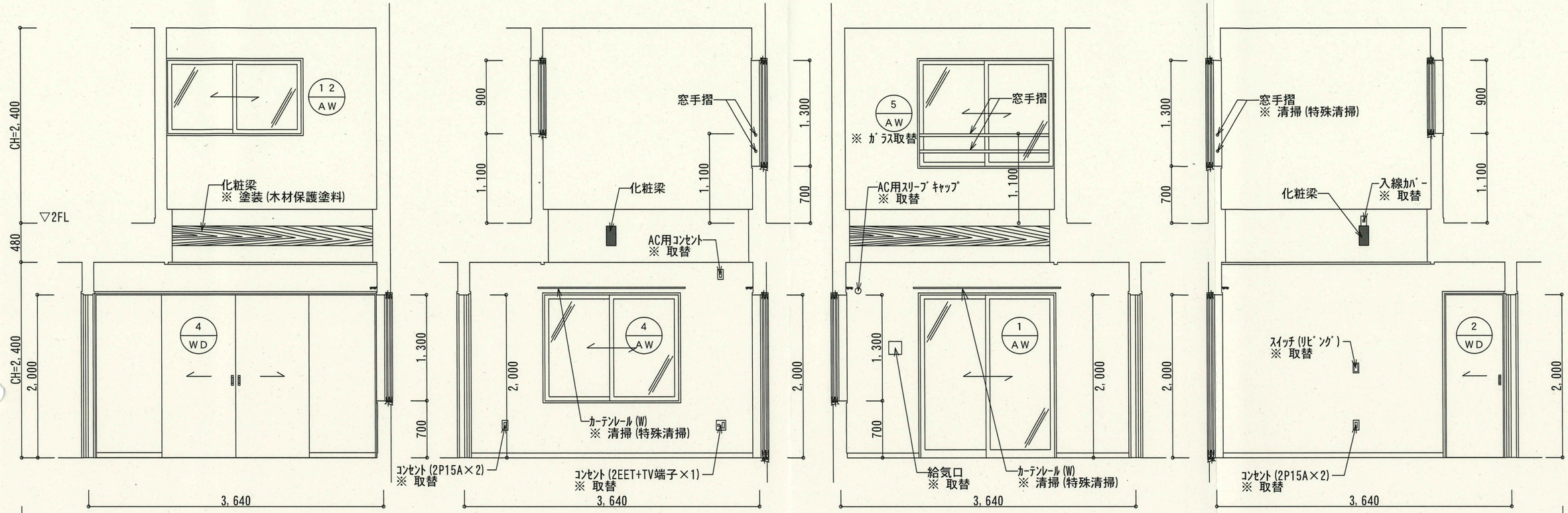
設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
R08.07					

工事名称：塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面名称：展開図３　Scale 1/50

全葉：27

図面No：A－15/26



リビング

※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《リビング》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	PBt9.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt9.5新設	PBt9.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存撤去 → 構造用合板t24新設	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t12張り
備考	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ	既存撤去 → ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ新設	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞｷｬｯﾌﾟ
	窓手摺	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	窓手摺
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)
	給気口(100φ)	既存撤去 → 給気口(100φ)新設	給気口(100φ)

宮城県住宅供給公社

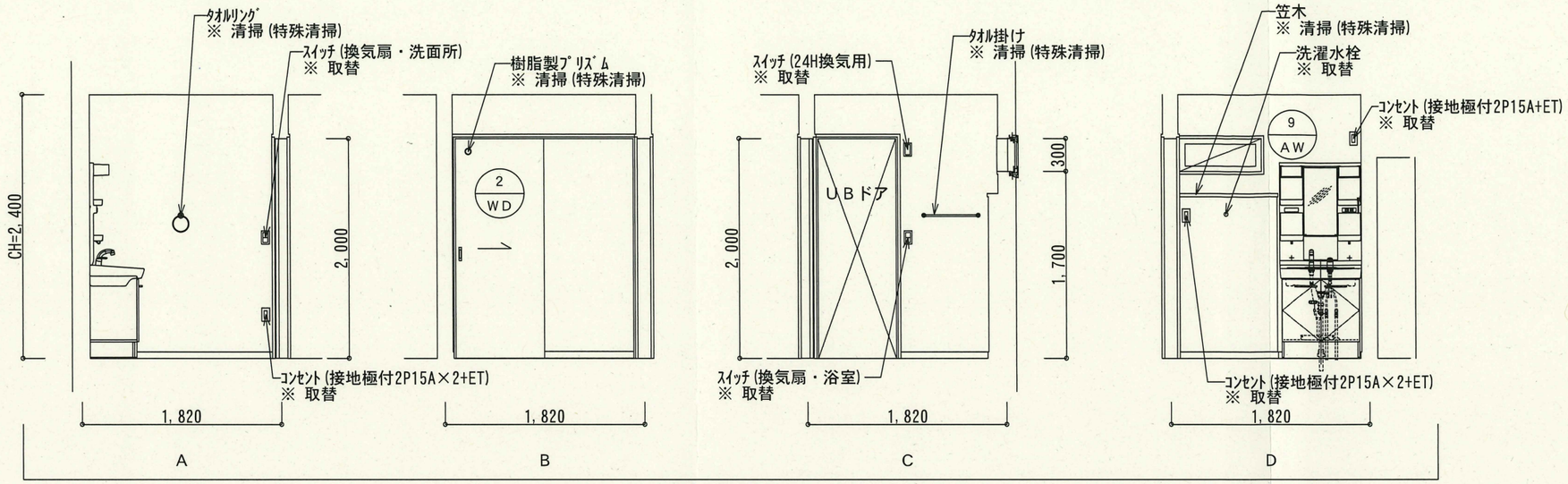
設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
R08.07					

工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面名称 展開図4 Scale 1/50

全葉 27

図面No A－16/26



洗面脱衣室

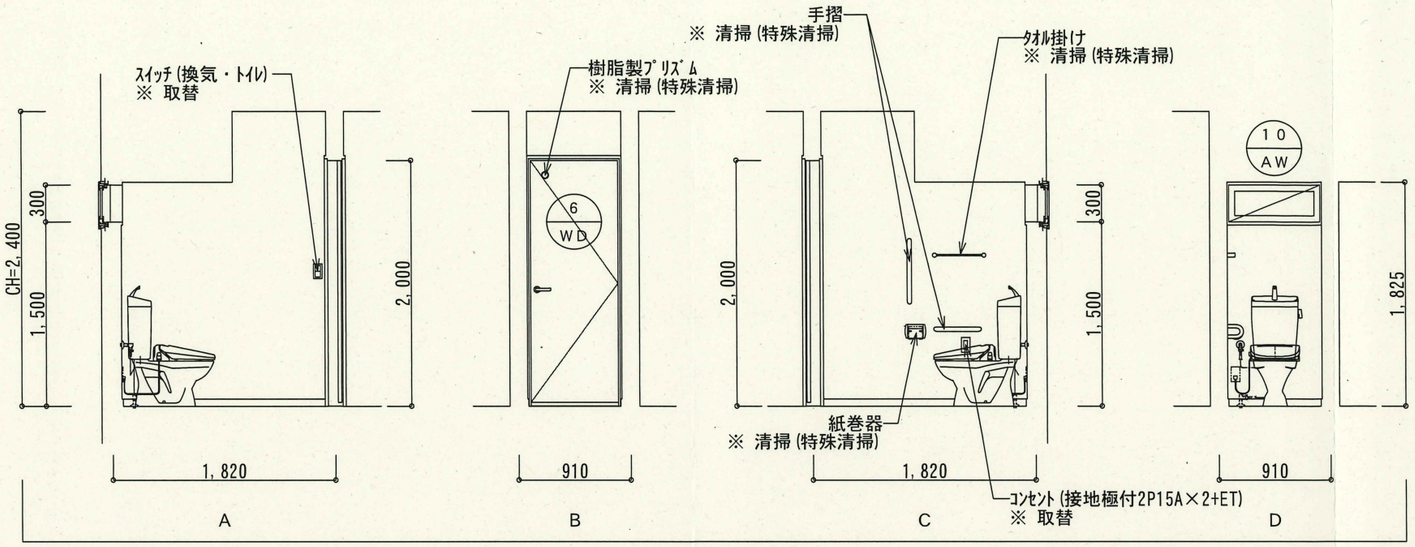
※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《洗面脱衣室》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	PBt9.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt9.5新設	PBt9.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
廻り縁	塩ﾋﾞ製	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	防水PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 防水PBt12.5新設	防水PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24
	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8貼	既存撤去 → ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8新設	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8貼
備考	洗面化粧台	既存のまま → 清掃(特殊清掃)	洗面化粧台
	ﾀｵﾙ掛け、ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	ﾀｵﾙ掛け、ﾀｵﾙﾘﾝｸﾞ
	天井点検口、床下点検口	枠：既存のまま → 清掃(特殊清掃)	天井点検口、床下点検口
		仕上：既存撤去 →復旧後仕上新設	

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事
		R08.07						図面名称 展開図5 Scale 1/50

全葉	図面No
27	A－17/26



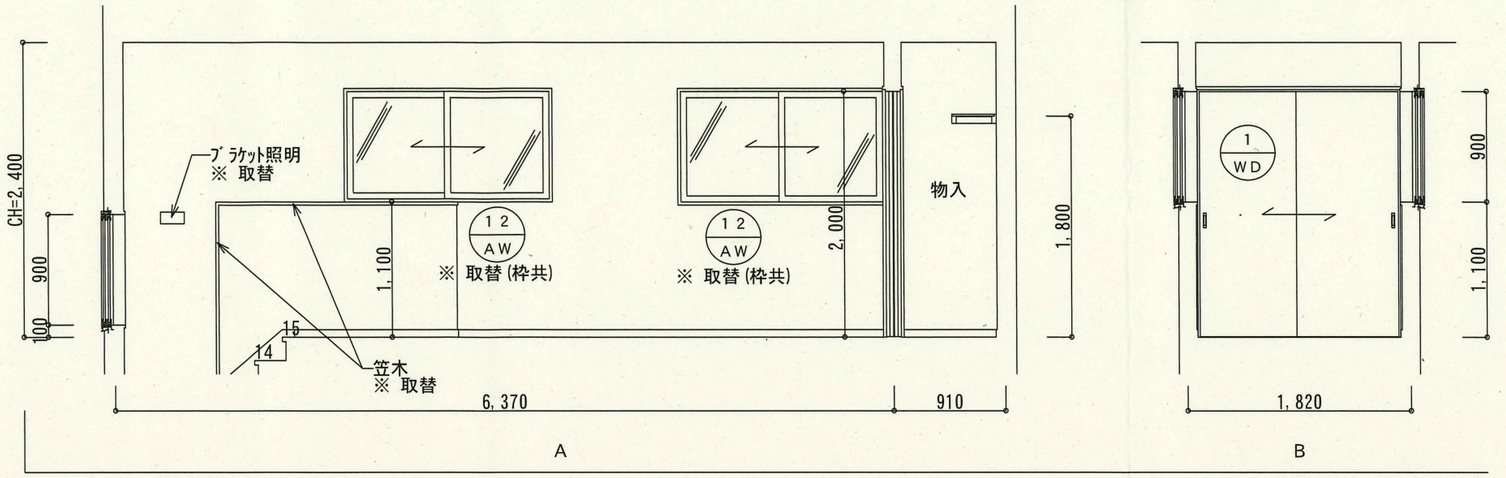
トイレ

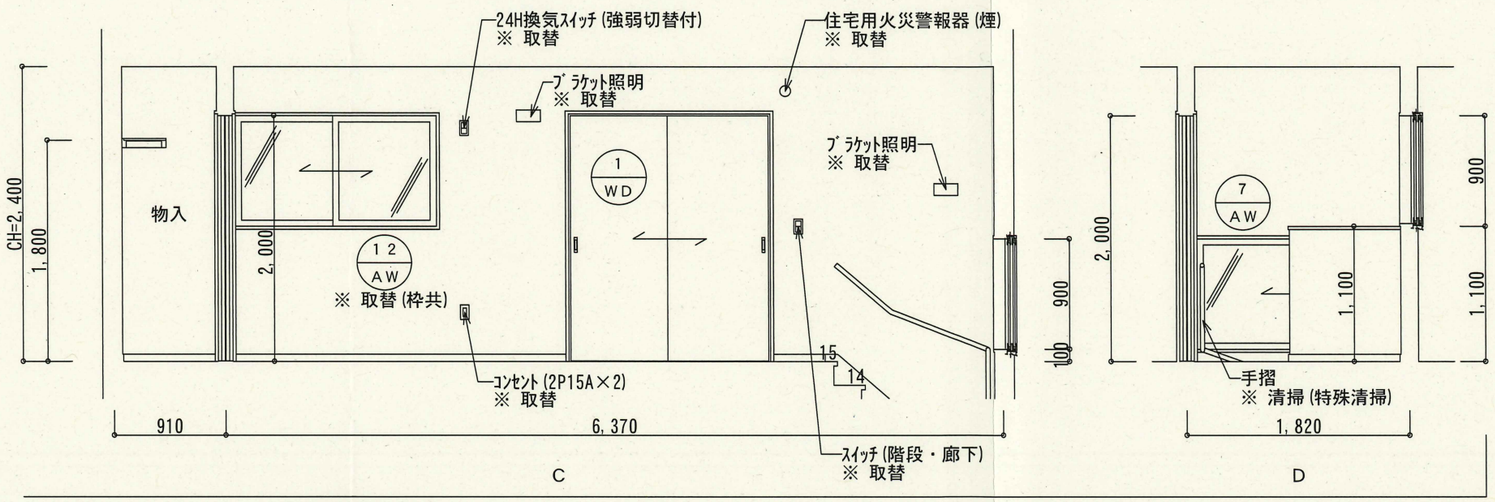
※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《トイレ》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 化粧PBt9.5新設	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地+合板t9下地	既存のまま	構造用合板t24+合板t9下地
	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8貼	既存撤去 → ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8新設	ｸｯｼｮﾝﾌﾛｱt1.8貼
備考	便器、紙巻器	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	便器、紙巻器
	ﾀｵﾙ掛け、手摺L型	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	ﾀｵﾙ掛け、手摺L型

		設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称	全葉	図面No
	宮城県住宅供給公社	R08.07						塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A−18/26
								図面名称 展開図6 Scale 1/50		





※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《廊下》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 化粧PBt9.5新設	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り
備考	天井点検口	枠：既存のまま → 清掃(特殊清掃)	天井点検口
		仕上：既存撤去 → 改修後仕上新設	

《物入》

物入	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	押入ﾎﾞｰﾄﾞt9.5	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 押入ﾎﾞｰﾄﾞt9.5新設	押入ﾎﾞｰﾄﾞt9.5
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	押入ﾎﾞｰﾄﾞt12.5	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 押入ﾎﾞｰﾄﾞt12.5新設	押入ﾎﾞｰﾄﾞt12.5
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り
備考	枕棚	既存撤去 → 枕棚新設	枕棚

宮城県住宅供給公社

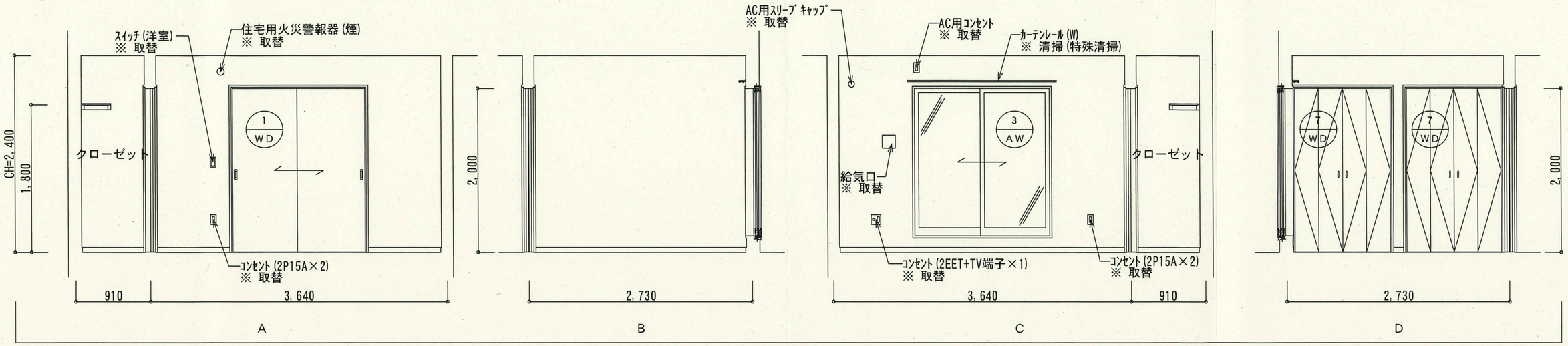
設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
R08.07					

工事名称：塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面名称：展開図7　Scale：1/50

全葉：27

図面No：A－19/26



洋室６帖

※ 建具(枠共)は、全て清掃(特殊清掃)とする。

《洋室６帖》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	PBt9.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt9.5新設	PBt9.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り
備考	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ ｷｬｯﾌﾟ	既存撤去 → ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ ｷｬｯﾌﾟ新設	ｴｱｺﾝ用ｽﾘｰﾌﾞ ｷｬｯﾌﾟ
	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ(W)
	給気口(100φ)	既存撤去 → 給気口(100φ)新設	給気口(100φ)

《クローゼット》

	既存仕上	復旧内容	復旧後仕上
天井	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → 化粧PBt9.5新設	化粧PBt9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ)
廻り縁	塩ﾋﾞ製廻り縁	既存撤去 → 塩ﾋﾞ製廻り縁新設	塩ﾋﾞ製廻り縁
壁	PBt12.5下地	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → PBt12.5新設	PBt12.5下地
	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼	既存撤去 → ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ新設	ﾋﾞﾆｰﾙｸﾛｽ貼
巾木	化粧巾木	取外 → 清掃(特殊清掃) → 再取付	化粧巾木
床	構造用合板t24下地	既存のまま	構造用合板t24下地
	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り	既存撤去(ﾋﾞｽ・釘抜きまで) → ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12新設	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt12張り
備考	枕棚(SUSﾊﾟｲﾌﾟ付)	既存撤去 → 枕棚(SUSﾊﾟｲﾌﾟ付)新設	枕棚(SUSﾊﾟｲﾌﾟ付)
	天井点検口	枠：既存のまま → 清掃(特殊清掃)	天井点検口
		仕上：既存撤去 → 復旧後仕上新設	

宮城県住宅供給公社

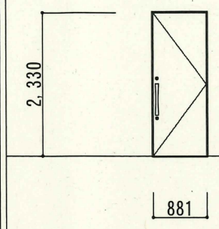
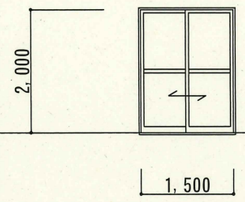
設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
R08.07		齋藤	高橋	千葉	皇坂

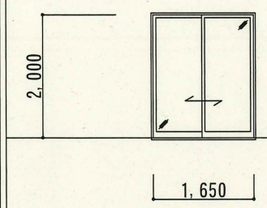
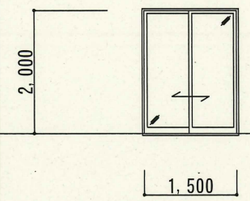
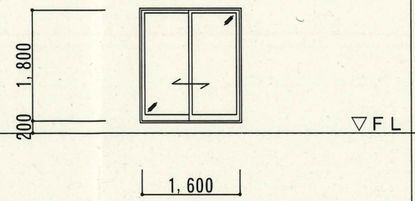
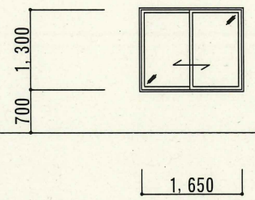
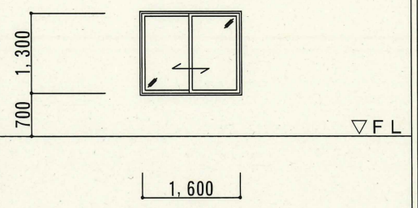
工事名称：塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事

図面名称：展開図８　Scale 1/50

全葉：２７

図面No：A－20/26

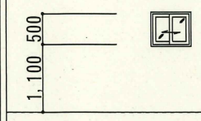
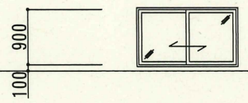
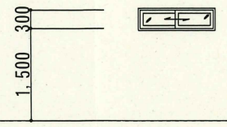
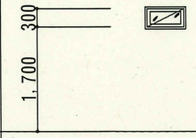
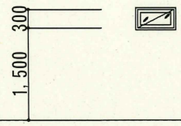
建具符号	1 AD 片開きドア	2 AD 引 戸			
姿 図	※防犯性能：カマ式デッドボルト，防犯サムターン付 				▽FL
復旧仕様	清掃(特殊清掃)				
使用箇所	玄 関 1	外部物入 1			
材料仕上	※金属製熱遮断構造枠＋断熱フラッシュ構造扉（K3）	アルミ合板押出形材（カラー）			
硝 子		上下目隠しパネルt3			
付属金物	ハンドルセット，シリンダーセット，戸車， その他付属金物一式	内外鎌錠，戸車，中桟 その他付属金物一式			

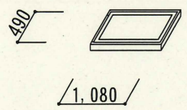
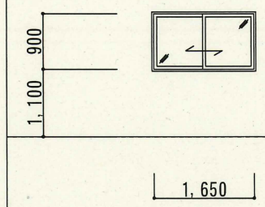
建具符号	1 AW 掃出し引違い窓	2 AW 掃出し引違い窓	3 AW 掃出し引違い窓	4 AW 引違い窓	5 AW 引違い窓
姿 図	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 
復旧仕様	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃) ※ 吹抜は，複層ｶﾞﾗｽ取替
使用箇所	リビング，ダイニング・キッチン 2	和室 1	洋室 1	リビング 1	和室，吹抜 2
材料仕上	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）
硝 子	複層ガラス：LOW－Et3＋A12＋フロートt3	複層ガラス：LOW－Et3＋A12＋フロートt3	複層ガラス：LOW－Et3＋A12＋フロートt3	複層ガラス：LOW－Et3＋A12＋フロートt3	複層ガラス：LOW－Et3＋A12＋フロートt3
付属金物	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式

※複層ガラス（ＬＯＷ－Ｅ）→ 熱貫流率1.90W/㎡K，日射侵入率0.47η　　※サッシＷ×Ｈ寸法は内法寸法

※玄関ドア，全てのサッシ：遮音性（Ｔ－１）

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称	全葉	図面 No
		R05. 09				千葉		塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事 図面名称 建具表1 Scale 1/100	27	A－21/26

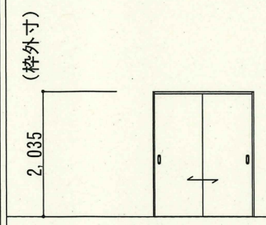
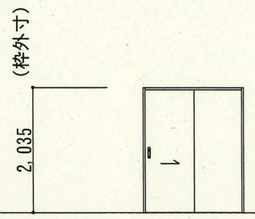
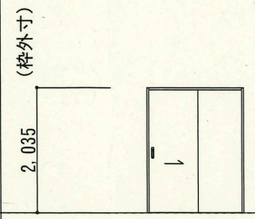
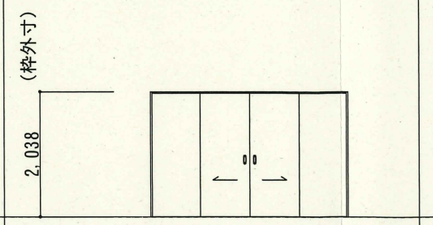
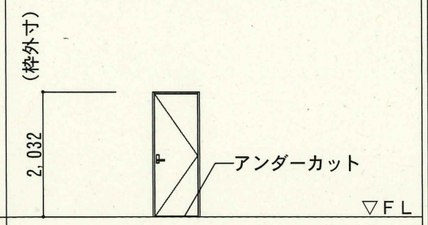
建具符号	(6 AW) 引違い窓	(7 AW) 引違い窓	(8 AW) 引違い窓	(9 AW) 横すべり出し窓	(10 AW) 横すべり出し窓
姿　図	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：ロック付クレセント，サブロック付 	※防犯性能：カムラッチハンドル，サブロック付 	※防犯性能：カムラッチハンドル，サブロック付 
復旧仕様	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)
使用箇所	ダイニング・キッチン　1	階段　1	UB　1	洗面脱衣室　1	トイレ　1
材料仕上	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）
硝　子	複層ガラス：ＬＯＷ－Ｅt3＋Ａ１２＋型t4	複層ガラス：ＬＯＷ－Ｅt3＋Ａ１２＋型t4	複層ガラス：ＬＯＷ－Ｅt3＋Ａ１２＋型t4	複層ガラス：ＬＯＷ－Ｅt3＋Ａ１２＋型t4	複層ガラス：ＬＯＷ－Ｅt3＋Ａ１２＋型t4
付属金物	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	クレセント，戸車，網戸， その他付属金物一式	カムラッチハンドル，網戸 その他付属金物一式	カムラッチハンドル，網戸 その他付属金物一式

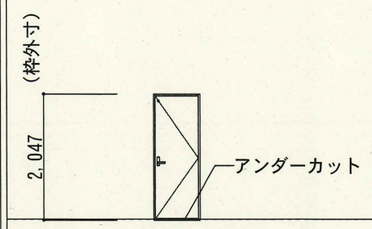
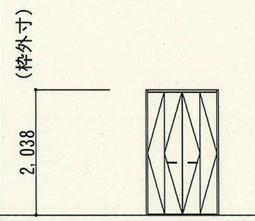
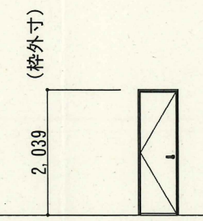
建具符号	(11 AW) トップライト（ＦＩＸ）	(12 AW) 引違い窓			
姿　図					▽FL
復旧仕様	清掃(特殊清掃)	建具取替(枠共)			
使用箇所	吹抜　2	廊下　3			
材料仕上	アルミ樹脂複合（カラー）	アルミ樹脂複合（カラー）			
硝　子	複層ガラス：LOW-E強化t3＋Ａ8＋網入り透明t6.8	単板ガラス：フロートt3			
付属金物	その他付属金物一式	クレセント，戸車 その他付属金物一式			

※複層ガラス（ＬＯＷ－Ｅ）→　熱貫流率1.90W/㎡K，日射侵入率0.47η，天窓：熱貫流率1.70W/㎡K，日射侵入率0.29η　　※サッシＷ×Ｈ寸法は内法寸法

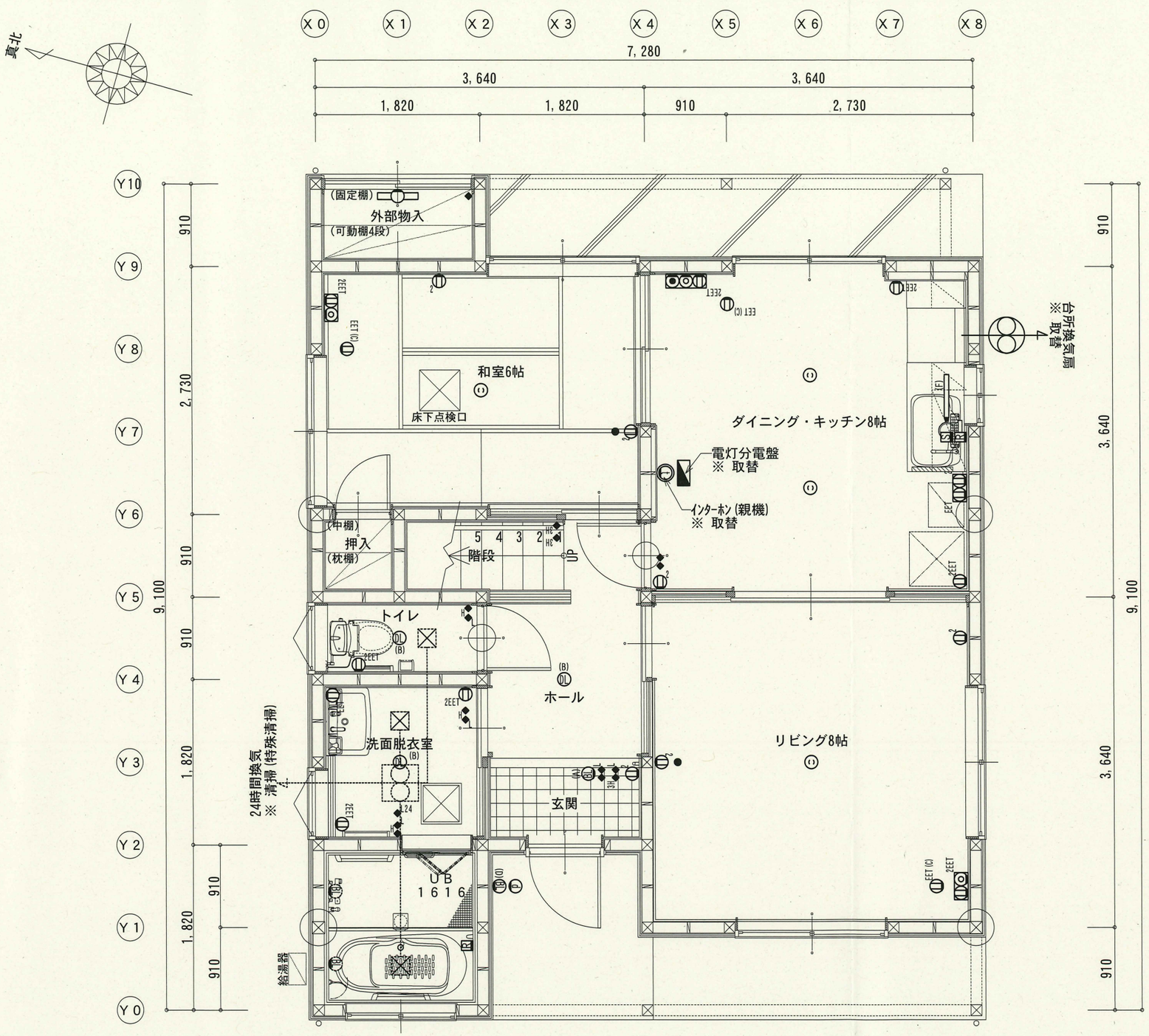
※サッシ全て：遮音性（Ｔ－１）

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉	図面 No
		R08.07		齋藤	千葉	千葉	坂	図面名称 建具表２ Scale 1/100	27	A－22/26

建具符号	1 WD 引違い戸	2 WD 片引き戸	3 WD 片引き戸	4 WD 引き分け戸	5 WD 片開き戸
姿　図					
復旧仕様	清掃(特殊清掃) ※ ﾀﾞｲﾆﾝｸﾞ・ｷｯﾁﾝ(和室)は、取替	清掃(特殊清掃)	取替	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)
使用箇所	ダイニング・キッチン，洋室，物入 3	リビング，洗面脱衣室， 2	和室 1	リビング 1	ダイニング・キッチン 1
材料仕上	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板	化粧合板
硝　子					
付属金物	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による

建具符号	6 WD 片開き戸	7 WD 4枚折戸	8 WD 片開き戸		
姿　図					▽FL
復旧仕様	清掃(特殊清掃)	清掃(特殊清掃)	取替		
使用箇所	トイレ 1	クローゼット 2	押入 1		
材料仕上	化粧合板	化粧合板	化粧合板		
硝　子	型ガラス				
付属金物	メーカー仕様による	メーカー仕様による	メーカー仕様による		

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27
		R08.07						図面名称 建具表3 Scale 1/100	図面No A－23/26

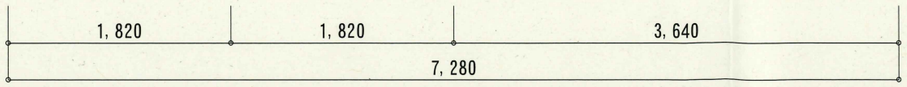


(特記事項)		
図中特記なき記号は下記による。		復旧仕様
●	ｽｲｯﾁ 1P15A(大角型)	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆	ｽｲｯﾁ 1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆L	ｽｲｯﾁ 確認表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆L24	ｽｲｯﾁ 24時間小風量換気扇確認表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆H	ｽｲｯﾁ 位置表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆3H	3路ｽｲｯﾁ 位置表示灯付3W15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P15A+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P15A×2+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
EET(C)	(ｴｱｺﾝ用)ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P20A(15A・20A兼用)+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
EET 2	(台所大型機器用)ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P20A(15A・20A兼用)+ET+2P15A×2	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
C	引掛ｼｰﾘﾝｸﾞﾛｰｾﾞｯﾄ	取替
DL	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	取替
BL	ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ	取替(玄関ﾎﾟｰﾁ灯を除く)
	棚下灯	清掃(特殊清掃)
	物置照明	清掃
BL	浴室ﾌﾞﾗｹｯﾄ	取替(ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽに付随)
	電灯分電盤	取替
2EE	ｺﾝｾﾝﾄ2EET+テレビ端子×1	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ2EET+テレビ端子×1+電話端子×1	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
C	ｲﾝﾀｰﾎﾝ(親機)	取替
C	ｲﾝﾀｰﾎﾝ(子機)	清掃
R	給湯器ﾘﾓｺﾝ	取替
S	水抜栓操作盤	取替
S	住宅用火災警報器(煙式)	取替
H	住宅用火災警報器(熱式)	取替
	壁付換気扇	取替(ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ共)
	天井付換気扇	1階：清掃(特殊清掃)
		2階：取替

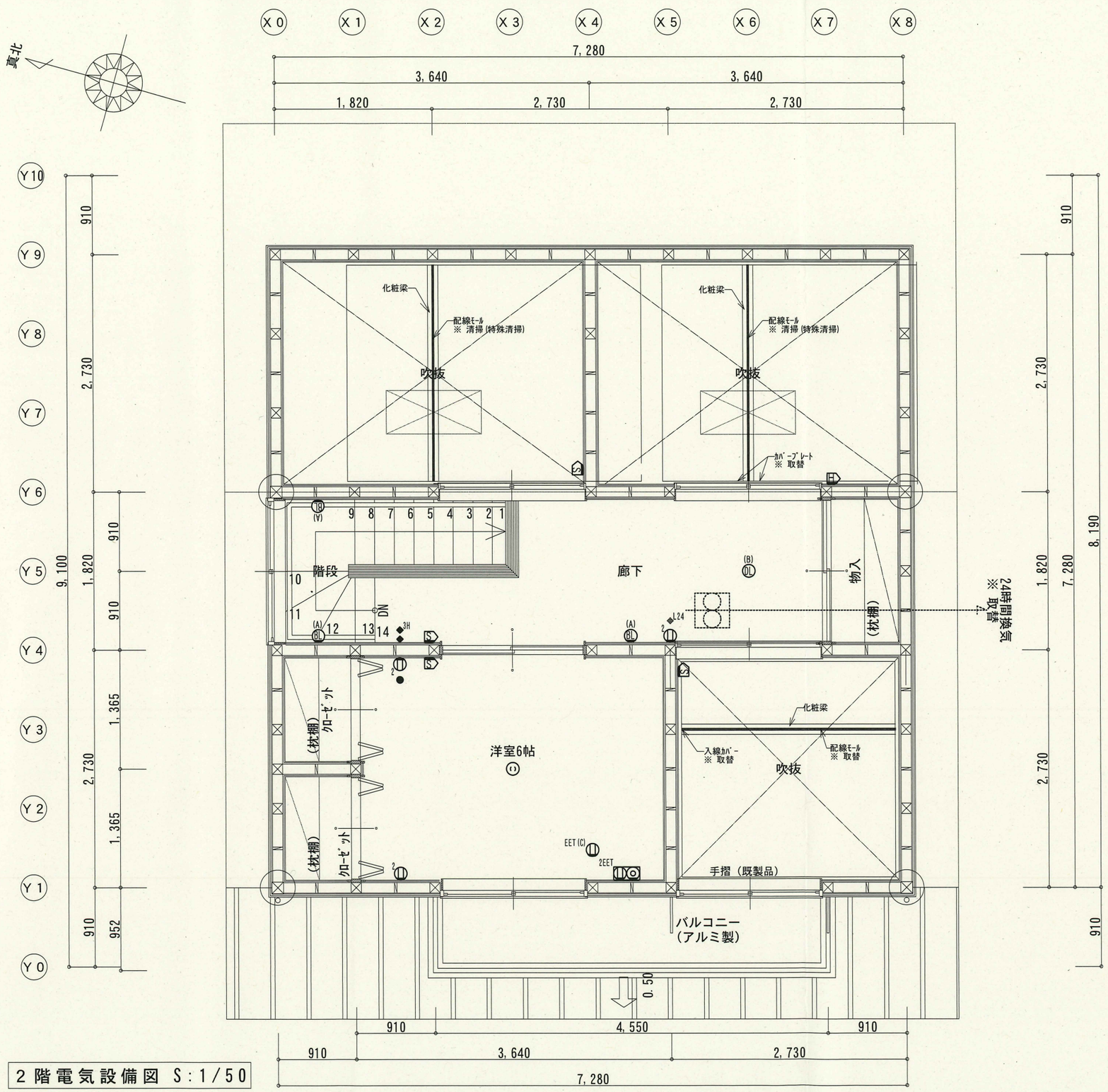
※ 2階天井付換気扇は、低騒音型・24時間換気用(50m/h×30Pa1φ100V：20W)とする。
※ ｽｲｯﾁは、ﾜｲﾄﾞﾊﾝﾄﾞﾙ形埋込とする。

名 称	取付高さ(床、又は畳上中心)
一般ｽｲｯﾁ	FL+1,100
24時間小風量換気扇ｽｲｯﾁ	FL+1,900
一般ｺﾝｾﾝﾄ	FL+400
洗面化粧台	CH-100
便座用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+500
冷蔵庫用ｺﾝｾﾝﾄ	CH-300
大型機器用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+400
洗濯機用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+1,300
ｴｱｺﾝ用ｺﾝｾﾝﾄ	CH-150
台所流し台ｺﾝｾﾝﾄ	FL+1,150
ｲﾝﾀｰﾎﾝ(親機)	FL+1,250
ｲﾝﾀｰﾎﾝ(子機)	FL+1,350
住宅用火災警報器	CH-200
電灯分電盤	FL+1,800

1階電気設備図 S:1/50



宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称	全葉	図面No
	R08.07		齋藤	宗像	千葉	阪	塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	27	A−24/26
							図面名称 1階電気設備図 Scale 1/50		



2階電気設備図 S:1/50

(特記事項)	
図中特記なき記号は下記による。	復旧仕様
●	ｽｲｯﾁ 1P15A(大角型)	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆	ｽｲｯﾁ 1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆L	ｽｲｯﾁ 確認表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆L24	ｽｲｯﾁ 24時間小風量換気扇確認表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆W	ｽｲｯﾁ 位置表示灯付1P15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
◆3H	3路ｽｲｯﾁ 位置表示灯付3W15A	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
ｺﾝｾﾝﾄ	ｺﾝｾﾝﾄ 2P15A×2	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
EET	ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P15A+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P15A×2+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
EET(C)	(ｴｱｺﾝ用)ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P20A(15A・20A兼用)+ET	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
EET	(台所大型機器用)ｺﾝｾﾝﾄ 接地極付2P20A(15A・20A兼用)+ET+2P15A×2	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
	引掛ｼｰﾘﾝｸﾞﾛｰｾﾞｯﾄ	取替
DL	ﾀﾞｳﾝﾗｲﾄ	取替
BL	ﾌﾞﾗｹｯﾄﾗｲﾄ	取替(玄関ﾎﾟｰﾁ灯を除く)
	棚下灯	清掃(特殊清掃)
	物置照明	清掃
BL	浴室ﾌﾞﾗｹｯﾄ	取替(ﾕﾆｯﾄﾊﾞｽに付随)
	電灯分電盤	取替
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ2EET+テレビ端子×1	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
2EET	ｺﾝｾﾝﾄ2EET+テレビ端子×1+電話端子×1	取替(ﾎﾞｯｸｽは除く)
I	ｲﾝﾀｰﾎﾝ(親機)	取替
I	ｲﾝﾀｰﾎﾝ(子機)	清掃
H	給湯器ﾘﾓｺﾝ	取替
H	水抜栓操作盤	取替
S	住宅用火災警報器(煙式)	取替
H	住宅用火災警報器(熱式)	取替
⊗	壁付換気扇	取替(ﾚﾝｼﾞﾌｰﾄﾞ共)
⊠	天井付換気扇	1階：清掃(特殊清掃)
		2階：取替

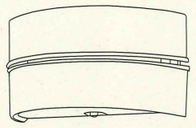
※ 2階天井付換気扇は、低騒音型・24時間換気用(50m/h×30Pa1φ100V：20W)とする。
※ ｽｲｯﾁは、ﾜｲﾄﾞﾊﾝﾄﾞﾙ形埋込とする。

名 称	取付高さ(床、又は畳上中心)
一般ｽｲｯﾁ	FL+1,100
24時間小風量換気扇ｽｲｯﾁ	FL+1,900
一般ｺﾝｾﾝﾄ	FL+400
洗面化粧台	CH-100
便座用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+500
冷蔵庫用ｺﾝｾﾝﾄ	CH-300
大型機器用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+400
洗濯機用ｺﾝｾﾝﾄ	FL+1,300
ｴｱｺﾝ用ｺﾝｾﾝﾄ	CH-150
台所流し台ｺﾝｾﾝﾄ	FL+1,150
ｲﾝﾀｰﾎﾝ(親機)	FL+1,250
ｲﾝﾀｰﾎﾝ(子機)	FL+1,350
住宅用火災警報器	CH-200
電灯分電盤	FL+1,800

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者	工事名称 塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉 27	図面 No A－25/26
		R08.07						図面名称 2階電気設備図 Scale 1/50		

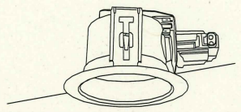
A　EFD15W×1　ブラケット

電球色
上下面カバー付
カバー：アクリル（乳白）
透明仕上



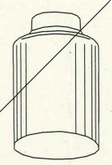
B　EFD15W×1　ダウンライト

高気密SGI形
電球色
枠：（ホワイトつや消し）
反射板：プラスチック（ホワイト）
埋込穴Φ125　埋込高　H＝83



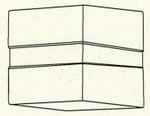
C　EFA15W×1　シーリングライト

セード：アクリル(乳白)
シーリングユニ方式



D　EFD15W×1　ブラケット

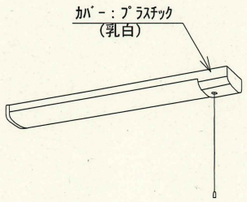
防雨型
電球色
長寿命ランプ使用（約10000時間）
カバー：アクリル（乳白）
W＝140　H＝140　出しろ150



E　FL20W×1　ブラケット

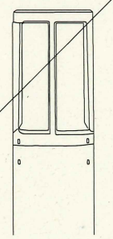
昼白色
カバー：プラスチック（乳白）
（ホワイト仕上）
両面化粧タイプ　スイッチ付
壁面・棚下取付専用
コンセント付（1000Wまで）
W＝616　　H＝86　出しろ65

F　FCL20W×1　シーリングライト



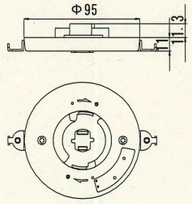
G　EFD25W×1　アプローチ灯

防雨型、　電球色
本　体：アルミダイガスト（ミディアムグレーメタリック）
ガード：アルミダイガスト（ミディアムグレーメタリック）
グローブ：ポリカーボネイト（プリズムグローブ）
ポール：ステンレス（ミディアムグレーメタリック）

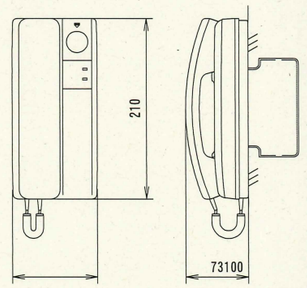


◯　コンセント付引掛埋込ローゼット　定格 6A 125V

取付金具ミルキーホワイト



ⓣ　インターホン(親機)



電源電圧	AC100V
形　状	壁掛形（セパレーター１個用樹脂ボックス）
材　質	樹脂
	非常警報機能

1）電源方式は、AC100 50/60Hzとし接続は、
　直結方式とする。
2）消費電力は、最大35W以下、待受時15W以下とする。
3）取付方式は、壁掛け又は埋込み固定型とする。
4）雷ｻｰｼﾞ防止機能があること。
5）ｲﾝﾀｰﾎﾝ機能を有し、その機能は、ＪＩＳ　Ｃ６０２０
　（ｲﾝﾀｰﾎﾝ通則）によるほか、玄関子機との通話方式は、
　同時通話方式、又は拡声交互通話方式とする。
6）呼出方式は、ｲﾝﾀｰﾎﾝではﾁｬｲﾑ音とする。
7）材質は合成樹脂製とする。
8）呼出音量調整機能があること。
9）形状等は参考とし、各製造者の任意とする。
10）火災時及びｺｰﾙﾎﾞﾀﾝ実装時に玄関ドアホンに警報が
　発せられること。

	宮城県住宅供給公社	設計年月日		保全課長	副参事兼課長補佐	課長補佐	設計者
		R08. 07				千葉	阜坂

工事名称	塩竈市営伊保石住宅火災室復旧工事	全葉	図面 No
図面名称	照明器具・インターホン参考姿図　Scale　－	27	A－26/26